

鹿 児 島 の 青 少 年

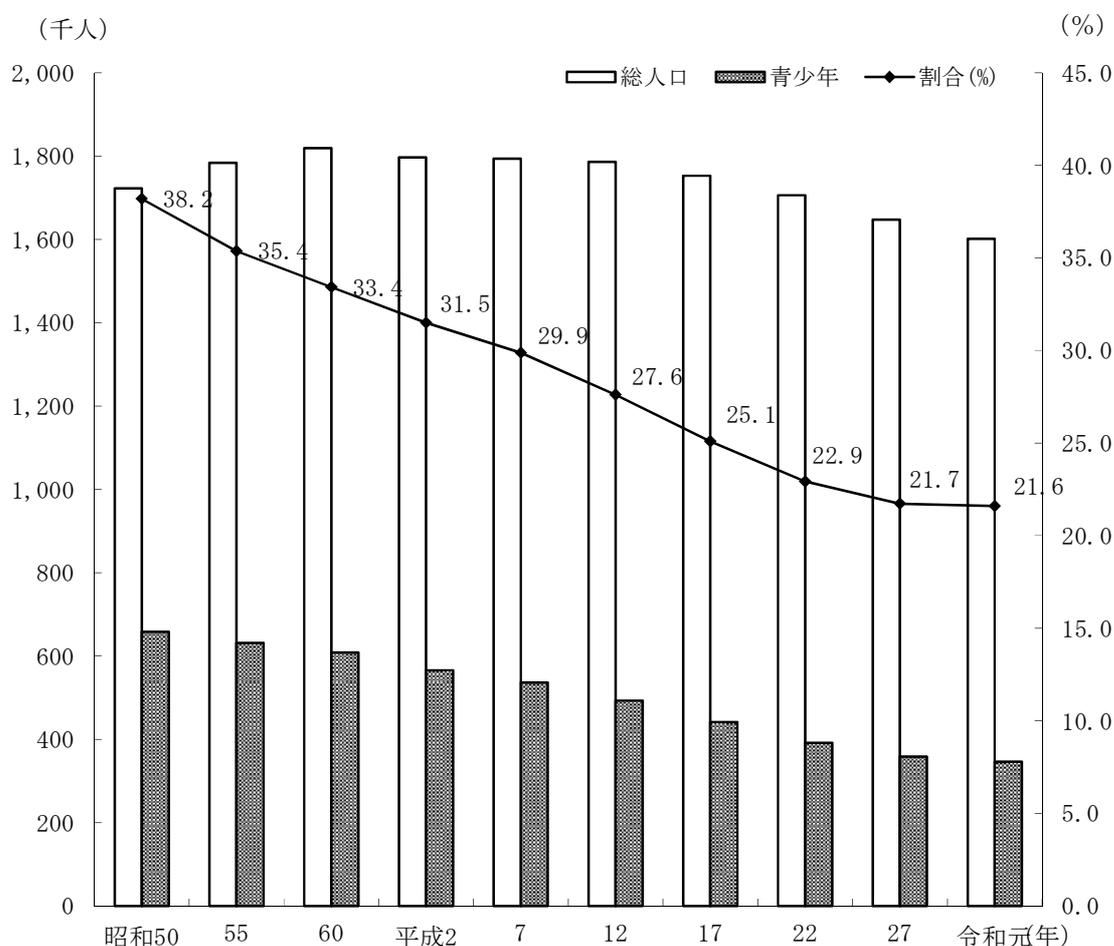
第 1 章	人口等	P. 1
第 2 章	家庭	P. 3
第 3 章	教育	P. 10
第 4 章	地域社会	P. 17
第 5 章	雇用	P. 19
第 6 章	情報通信環境	P. 26
第 7 章	安全・健康	P. 28
第 8 章	非行	P. 33
第 9 章	各相談窓口の状況	P. 39



男女共同参画局青少年男女共同参画課

第1章 人口等

1 総人口に占める青少年人口（0～24歳）の推移



年		昭和50	55	60	平成2	7	12	17	22	27	令和元
鹿児島県	総人口	1,723	1,784	1,819	1,797	1,794	1,786	1,753	1,706	1,648	1,602
	青少年	658	631	608	566	536	493	441	391	358	346
	割合 (%)	38.2	35.4	33.4	31.5	29.9	27.6	25.1	22.9	21.7	21.6
全国	総人口	11,193	11,706	12,105	12,361	12,557	12,693	12,777	12,806	12,709	
	青少年	4,418	4,365	4,321	4,129	3,847	3,438	3,144	2,929	2,786	
	割合 (%)	39.5	37.3	35.7	33.4	30.6	27.1	24.6	22.9	21.9	

(注1) 人口の単位は全国が万人、県が千人

(注2) 各年10月1日現在。全国については、翌年度4月公表予定

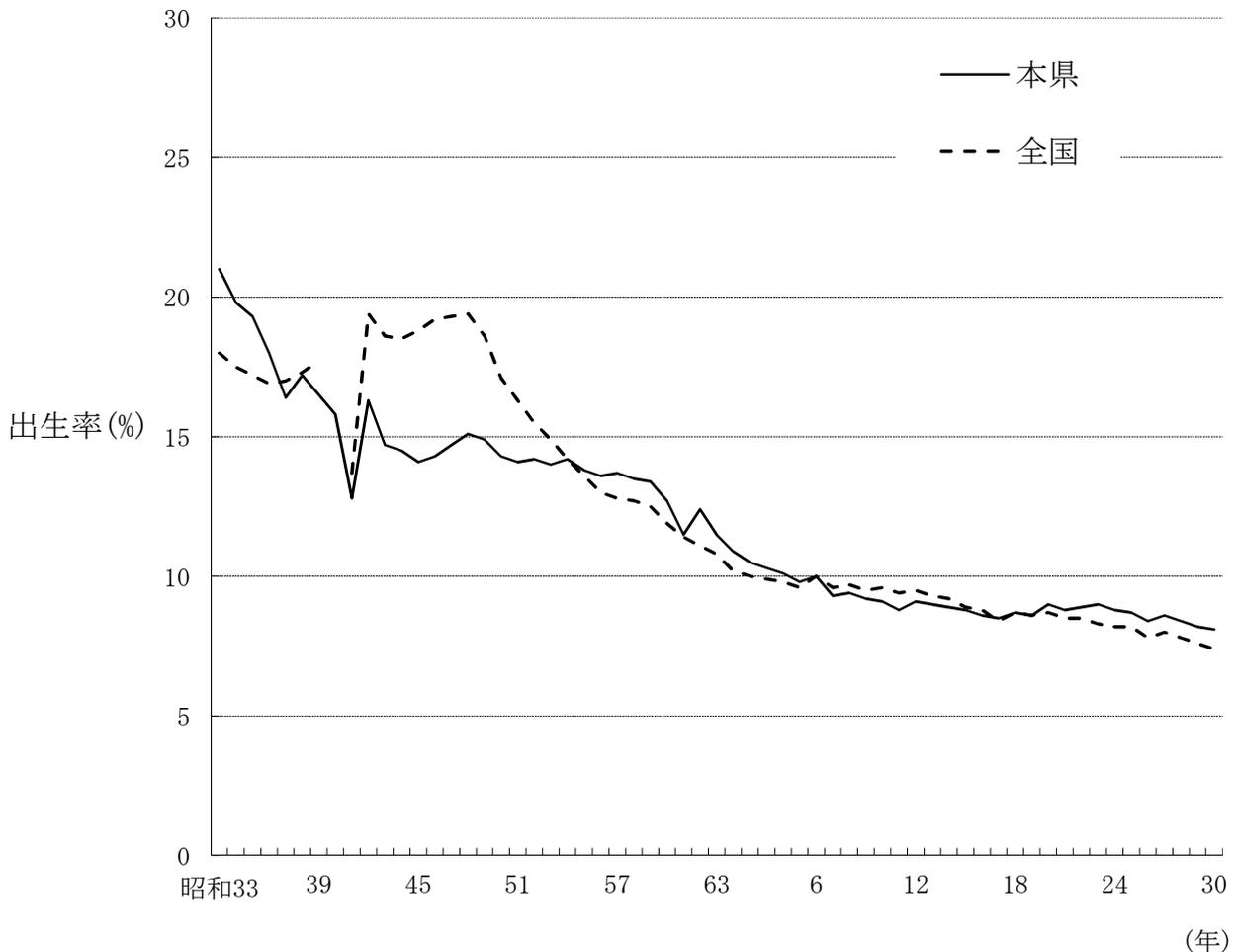
資料(平成27年まで)：国勢調査

資料(令和元年)：鹿児島県「県人口移動調査(年齢別推計人口)」(県統計課)

本県の青少年人口(0～24歳)は、令和元年10月1日現在346千人であり、年々減少している。総人口に占める青少年人口の割合は、令和元年には、21.6%となり、昭和50年の38.2%より16.6ポイントも低下している。

2 出生率の状況

【出生率の年次推移】



【出生率（人口千対）・合計特殊出生率の年次推移】
平成

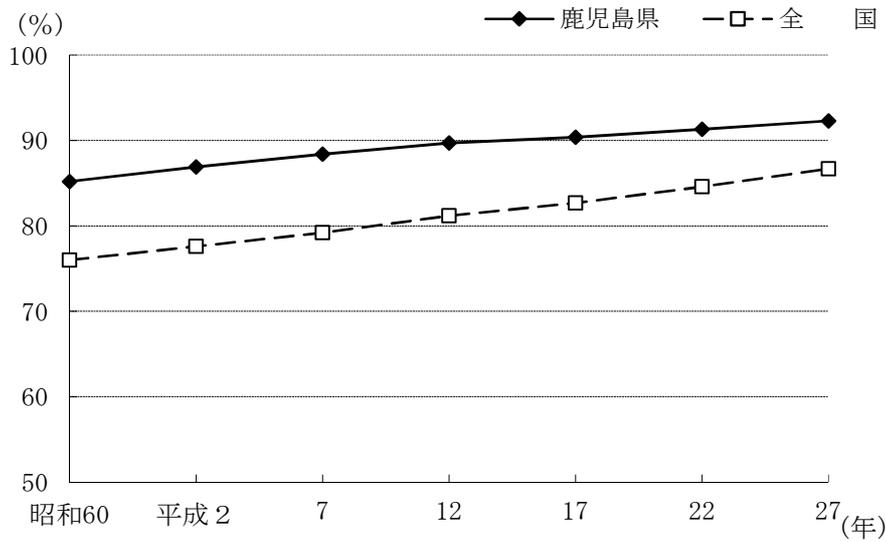
区分\年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
出生率	本県	8.5	8.7	8.7	9.0	8.8	8.9	9.0	8.8	8.7	8.6	8.6	8.4	8.2	8.1
	全国	8.4	8.7	8.6	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	8.0	7.8	7.6	7.4	
合計特殊出生率	本県	1.49	1.51	1.54	1.59	1.56	1.62	1.64	1.64	1.63	1.62	1.7	1.68	1.69	1.7
	全国	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42

本県の合計特殊出生率は平成16年に過去最低の1.46となったが、平成30年は1.70となっている。

資料：厚生労働省 人口動態統計（確定数）の概況

第2章 家庭

1 核家族の状況（親族世帯に占める核家族世帯の割合の推移）



(単位：%)

年	昭和60	平成2	7	12	17	22	27
鹿児島県	85.2	86.9	88.4	89.7	90.4	91.3	92.3
全 国	76.0	77.6	79.2	81.2	82.7	84.6	86.7

資料：国勢調査

平成27年の親族のみの世帯に占める核家族世帯の割合は92.3パーセントで、昭和60年に対して7.1ポイント高くなっている。

2 ひとり親世帯の状況

(1) ひとり親世帯（鹿児島県）

（単位：世帯）

年	平成2	7	12	17	22	27
母子世帯(a)	10,785	10,385	11,720	13,301	13,942	13,746
父子世帯(b)	1,975	1,825	1,949	1,950	1,689	1,641
計(a+b)	12,760	12,210	13,669	15,251	15,631	15,387

総務省「国勢調査」

本県のひとり親家庭（母または父と19歳以下の未婚の子どもの世帯）は、平成27年で、15,387世帯であり、前回調査時の平成22年と比較し1.6%減少しています。

(2) ひとり親家庭の子どもの数（鹿児島県）

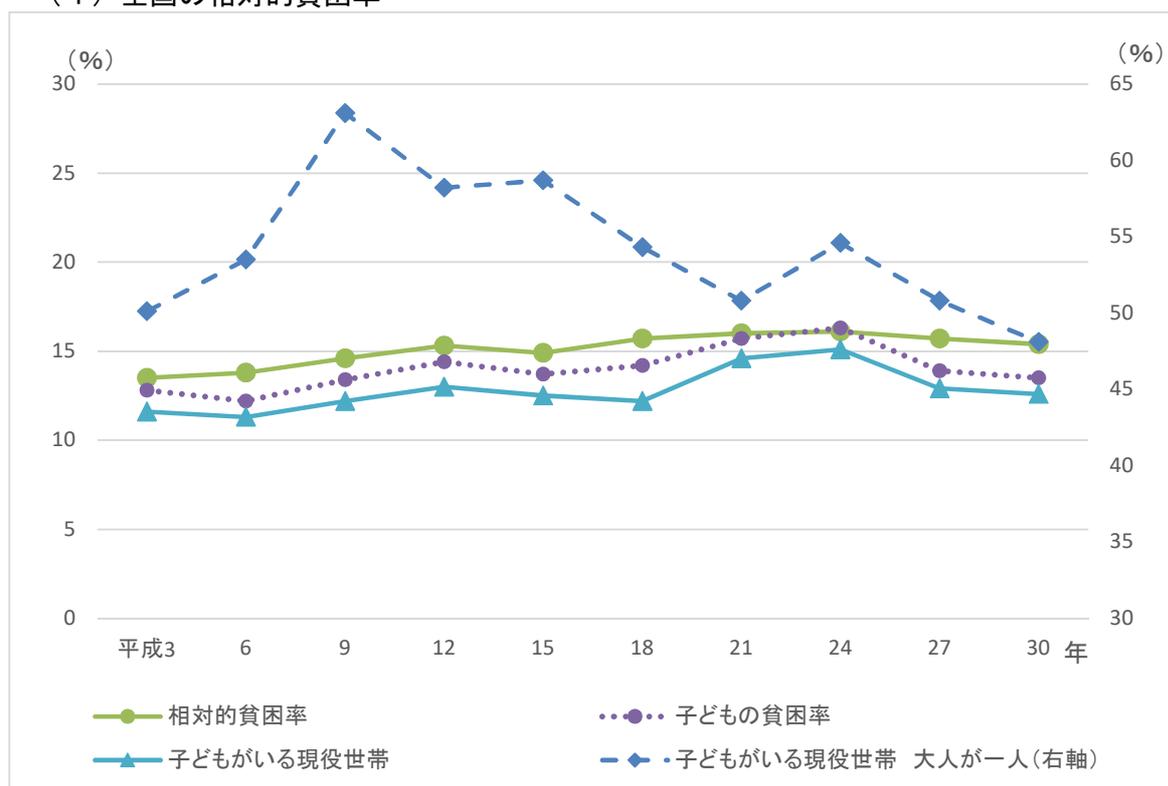
年	平成12	17	22	27
母子世帯の人員数（人，a）	31,703	36,071	37,336	36,780
母子世帯数（世帯，b）	11,720	13,301	13,942	13,746
母子世帯の子どもの数 （人，c=a-b）	19,983	22,770	23,394	23,034
父子世帯の人員数（人，d）	5,112	5,145	4,393	4,230
父子世帯数（世帯，e）	1,949	1,950	1,689	1,641
父子世帯の子どもの数 （人，f=d-e）	3,163	3,195	2,704	2,589
ひとり親世帯の子どもの数 （人，c+f）	23,146	25,965	26,098	25,623

総務省「国勢調査」

本県のひとり親家庭の子どもの数（ひとり親家庭の人員数からひとり親家庭の世帯数を差し引いた推計値）は、平成27年で、25,623人となっており、前回調査時の平成22年と比較し、1.8%減少しています。

3 経済状況（子どもの貧困）

(1) 全国の相対的貧困率



年	平成3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
相対的貧困率 (%)	13.5	13.8	14.6	15.3	14.9	15.7	16.0	16.1	15.7	15.4
子どもの貧困率 (%)	12.8	12.2	13.4	14.4	13.7	14.2	15.7	16.3	13.9	13.5
子どもがいる現役世帯 (%)	11.6	11.3	12.2	13.0	12.5	12.2	14.6	15.1	12.9	12.6
大人が一人	50.1	53.5	63.1	58.2	58.7	54.3	50.8	54.6	50.8	48.1
大人が二人以上	10.7	10.2	10.8	11.5	10.5	10.2	12.7	12.4	10.7	10.7
中央値 (万円) (a)	270	289	297	274	260	254	250	244	244	253
貧困線 (万円) (a/2)	135	144	149	137	130	127	125	122	122	127

厚生労働省「令和元年度国民生活基礎調査」

(2) 生活保護世帯の子どもの数 (鹿児島県)

年		平成26	27	28	29	30
0~19歳	被保護人員(a)	4,320人	4,063人	3,820人	3,538人	3,417人
	対前年増減	-4.6%	-5.9%	-6.0%	-7.4%	-3.4%
総数	被保護人員(b)	32,108人	31,730人	31,260人	30,776人	30,429人
	対前年増減比	-0.9%	-1.2%	-1.5%	-1.5%	-1.1%
19歳以下の構成比(a/b)		13.5%	12.8%	12.2%	11.5%	11.2%

※ 各年7月31日現在の人員 (平成30年度は暫定値)

厚生労働省「被保護者調査」

(3) 生活保護世帯の子どもの進学率, 就職率 (鹿児島県)

年		平成26	27	28	29	30	
中学校 卒業後	進学	生活保護世帯	93.2%	95.5%	86.6%	93.5%	94.0%
		県全体	99.0%	98.9%	99.2%	99.1%	99.1%
	就職	生活保護世帯	1.9%	1.4%	1.0%	0.4%	0.4%
		県全体	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%
高等学校 等卒業後	進学	生活保護世帯	28.6%	32.4%	24.4%	27.9%	24.7%
		県全体	70.1%	70.2%	70.6%	70.1%	69.4%
	就職	生活保護世帯	54.2%	52.9%	57.4%	50.6%	68.0%
		県全体	27.9%	27.5%	27.3%	27.1%	28.2%

※ 生活保護世帯については厚生労働省社会・擁護局保護課調べ, 県全体については文部科学省「学校基本調査速報値」を基に算出

※ 進学は, 専修学校, 各種学校, 公共職業能力開発施設等へ進学したものを含む。

(4) 経済状況に伴う影響（「かごしま子ども調査結果」（H29））

A類世帯：等価可処分所得が中央値の2分の1（122万円）未満の世帯

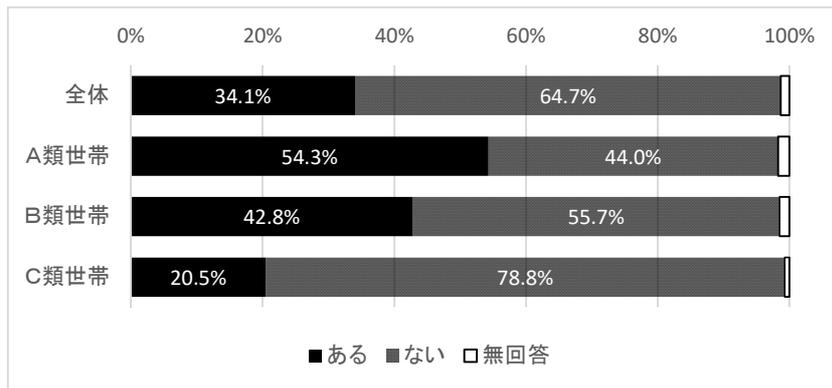
B類世帯：等価可処分所得が122万円以上244万円未満の世帯

C類世帯：等価可処分所得が中央値（244万円）以上の世帯

※ 等価可処分所得：世帯の可処分所得（就労所得，財産所得，仕送り等，公的年金，その他の現金給付）を世帯人員の平方根で割って調整した額

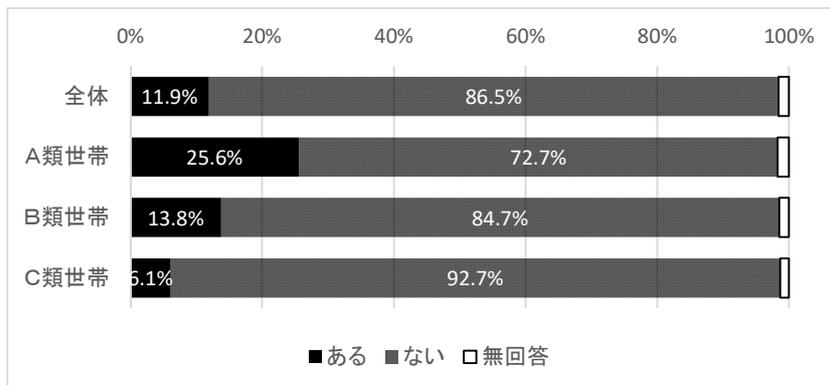
① 学習機会の確保

（経済的な理由により，子どもの学習意欲に応えられなかったことがあるか）



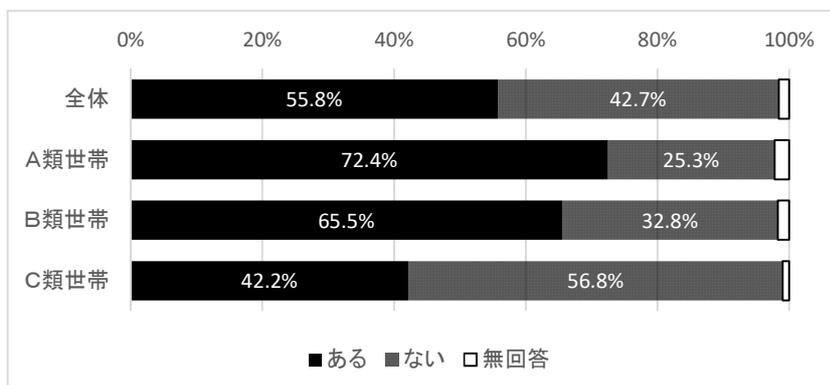
② 進路に対する不安（子ども）

（子どもが，経済的な理由により，自らの進路に不安を抱いている様子はあるか）



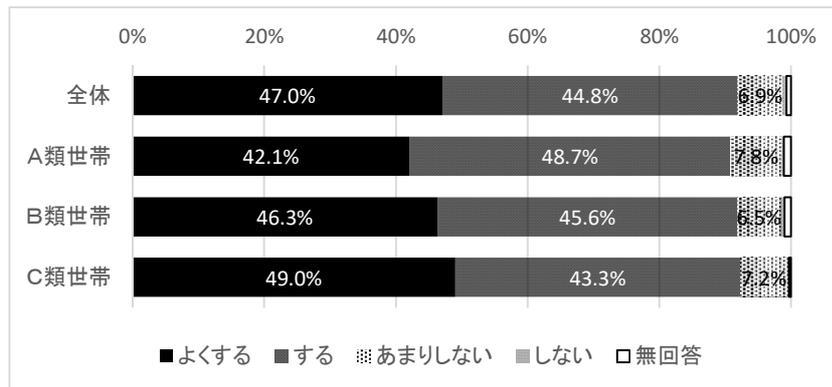
③ 進路に対する不安（親）

（経済的な理由により，子どもの進路に不安を抱いたことはあるか）



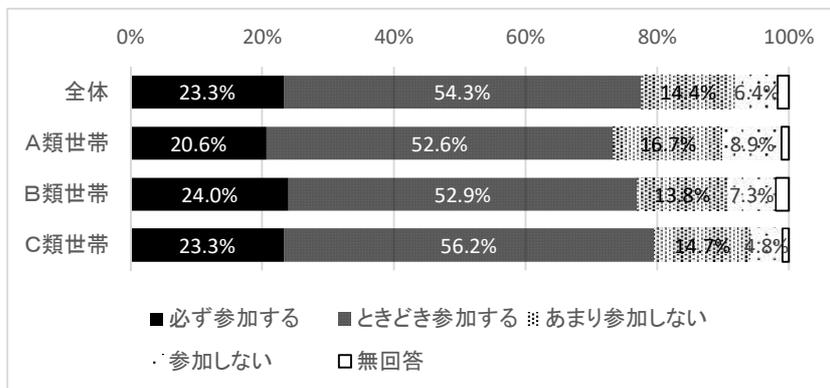
④ 子どもとの会話

(子どもと学校での出来事や友達のことについて、会話をするか。)



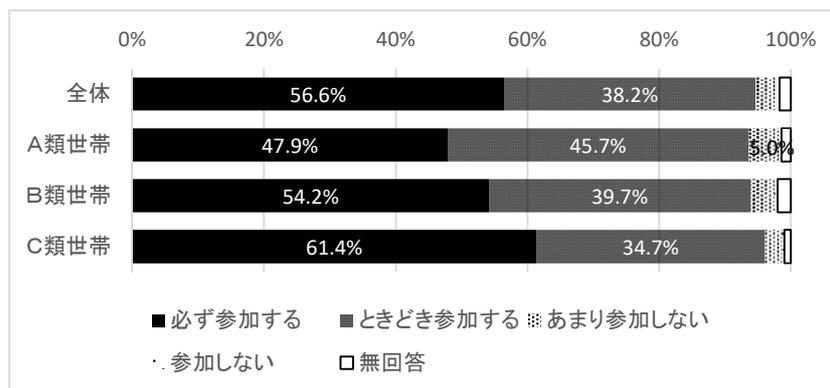
⑤ 地域行事への参加

(「地域の行事」に参加しているか。)

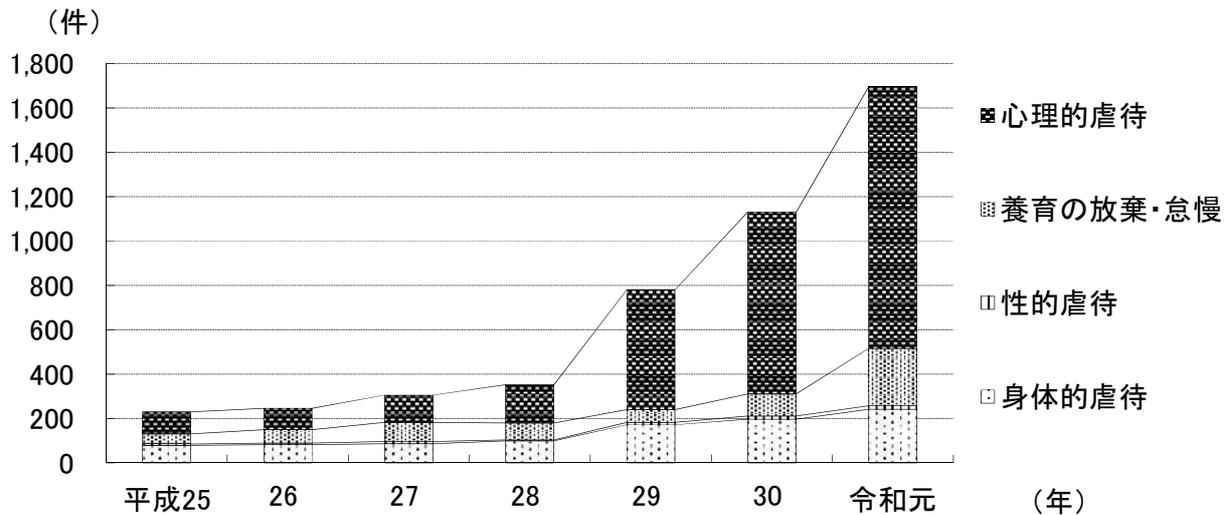


⑤ 学校行事への参加

(「学校の行事」に参加しているか。)



4 児童虐待の状況



(単位：件)

項目 \ 年度	平成25	26	27	28	29	30	令和元
身体的虐待	79	83	87	100	173	198	242
性的虐待	7	6	10	3	10	14	16
養育の放棄・怠慢	45	61	86	77	58	100	258
心理的虐待	100	97	123	172	540	819	1,180
計	231	247	306	352	781	1,131	1,696
全 国	73,802	88,931	103,286	122,575	138,778	159,838	—

(2) 主たる虐待者の状況

(単位：件)

年 度	平成25	26	27	28	29	30	令和元
実父から	101	68	89	124	443	664	807
実父以外の父親から	26	15	35	39	79	107	127
実母から	91	139	152	176	216	314	683
実母以外の母親から	2	0	4	2	4	0	3
その他から	11	25	26	11	39	46	76
計	231	247	306	352	781	1,131	1,696

(3) 被虐待児の年齢

(単位：件)

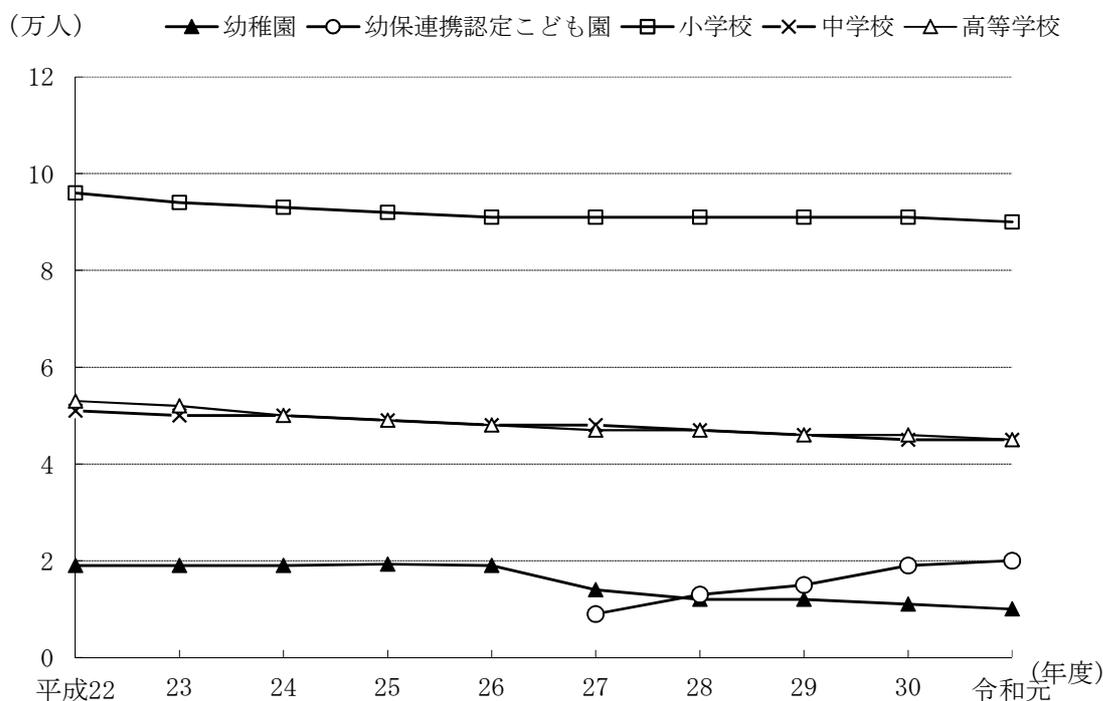
年 度	平成25	26	27	28	29	30	令和元
3歳未満	30	47	43	51	183	249	325
3歳～学齢前児	39	46	56	87	150	216	371
小学生	97	85	119	124	274	403	601
中学生	42	40	55	53	105	154	234
高校生・その他	23	29	33	37	69	109	165
計	231	247	306	352	781	1,131	1,696

資料：子ども家庭課（県中央児童相談所，大隅児童相談所・大島児童相談所業務概要
鹿児島県における子ども虐待の実績）

第3章 教育

1 本県の教育人口

(1) 年次別推移



(2) 学校数及び生徒数

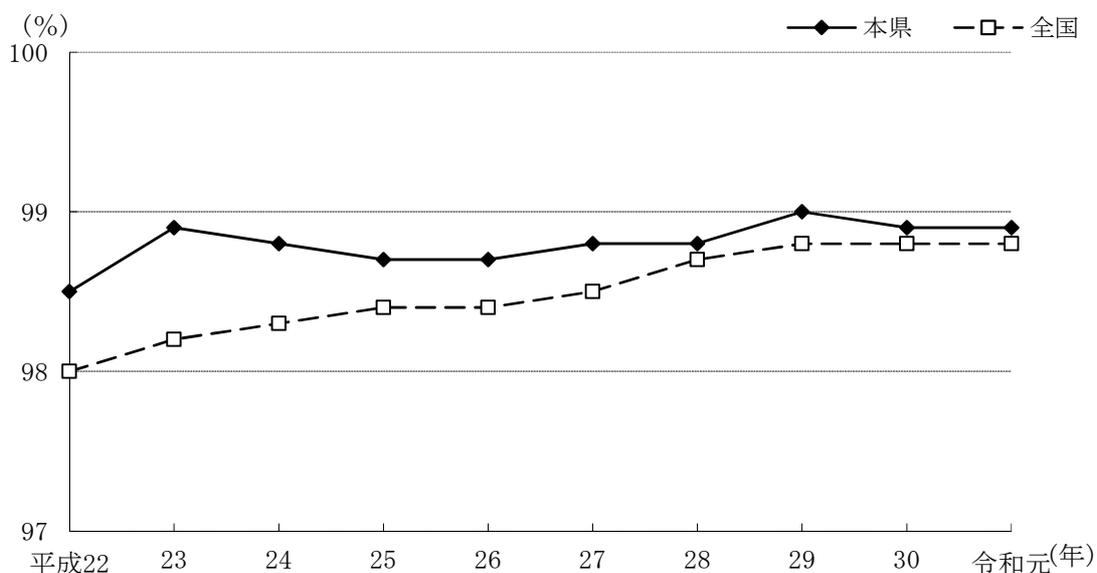
単位：(校, 人) (令和元年5月1日現在)

区分	学校数	児童・生徒・学生数		
		男	女	計
小学校	515	46,391	44,072	90,463
中学校	232	23,262	21,671	44,933
義務教育学校	3	339	302	641
高等学校	89	22,427	22,554	44,981
通信教育	4	4,970	5,268	10,238
特別支援学校	17	1,532	839	2,371
幼稚園	150	5,164	5,037	10,201
幼保連携型認定こども園	195	10,469	9,994	20,463
専修学校	42	3,079	3,823	6,902
各種学校	4	28	63	91
大学	6	10,602	6,531	17,133
短期大学	4	135	1,979	2,114
高等専門学校	1	933	137	1,070
計	1,262	129,331	122,270	251,601

資料：令和元年度学校基本統計（学校基本調査報告書）
文部科学省「学校基本調査報告書」

2 進路状況

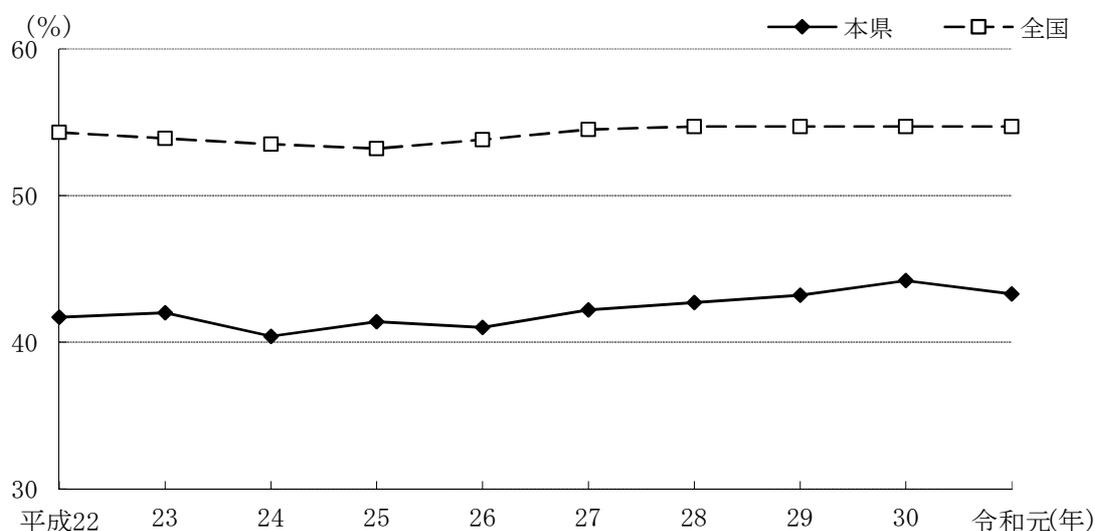
(1) 中学校卒業者の進学率の推移



年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
本県	98.5	98.9	98.8	98.7	98.7	98.8	98.8	99.0	98.9	98.9
全国	98.0	98.2	98.3	98.4	98.4	98.5	98.7	98.8	98.8	98.8

資料：令和元年度学校基本統計（学校基本調査報告書）

(2) 高等学校卒業者の進学率の推移



年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
本県	41.7	42	40.4	41.4	41	42.2	42.7	43.2	44.2	43.3
全国	54.3	53.9	53.5	53.2	53.8	54.5	54.7	54.7	54.7	54.7

資料：令和元年度学校基本統計（学校基本調査報告書）

平成31年3月の中学校卒業者の進学率は、98.9%（前年98.9%）で全国の進学率を0.1ポイント上回っている。

また、高等学校では、43.3%（前年44.2%）で全国の進学率を11.4ポイント下回っている。

3 いじめの状況（公立・私立学校）

単位：件数

年 度		26	27	28	29	30
本 県	小学校	2,183	3,264	3,950	3,528	5,456
	中学校	2,034	1,865	1,370	1,227	1,564
	高 校	840	917	674	672	674
	特別支援	37	31	48	35	28
	合 計	5,094	6,077	6,042	5,462	7,722
全 国	小学校	121,648	150,930	234,857	312,487	422,345
	中学校	51,200	59,065	70,526	79,650	96,762
	高 校	9,181	12,652	12,733	14,584	17,637
	特別支援	956	1,248	1,617	1,928	1,924
	合 計	182,985	223,895	319,733	408,649	538,668

資料：文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

※ 小学校には義務教育学校前期課程，中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程，高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

※ いじめの定義

いじめとは、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒等と一定の人間関係にある児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

4 不登校の状況

(1) 年次推移 (公立・私立学校における年間30日以上欠席者)

(単位：人，%)

年 度	26	27	28	29	30
本 県 小 学 校	225	289	307	294	427
	(0.25)	(0.32)	(0.34)	(0.33)	(0.47)
全 国 小 学 校	25,084	27,510	30,351	34,945	44,717
	(0.40)	(0.42)	(0.47)	(0.54)	(0.70)
本 県 中 学 校	1,317	1,480	1,443	1,400	1,531
	(2.91)	(3.13)	(3.10)	(3.07)	(3.41)
全 国 中 学 校	93,142	98,025	102,839	108,572	119,215
	(2.92)	(2.85)	(3.03)	(3.27)	(3.67)
本 県 高 等 学 校	718	1,014	978	996	1,035
	(2.19)	(2.21)	(2.15)	(2.20)	(2.31)
全 国 高 等 学 校	41,555	49,520	71,473	49,584	52,661
	(1.81)	(1.49)	(2.16)	(1.51)	(1.63)

上段；不登校児童生徒数

下段；全在籍者対比

資料：文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

※ 小学校には義務教育学校前期課程，中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程，高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

※ 不登校とは，何らかの心理的，情緒的，身体的，あるいは社会的要因・背景により，児童生徒が登校しないあるいは登校したくともできない状況にあること（ただし，病気や経済的な理由によるものを除く。）をいう。また，不登校児童生徒数とは，不登校で30日以上欠席した児童生徒数とする。

(2) 不登校の要因 (公立)

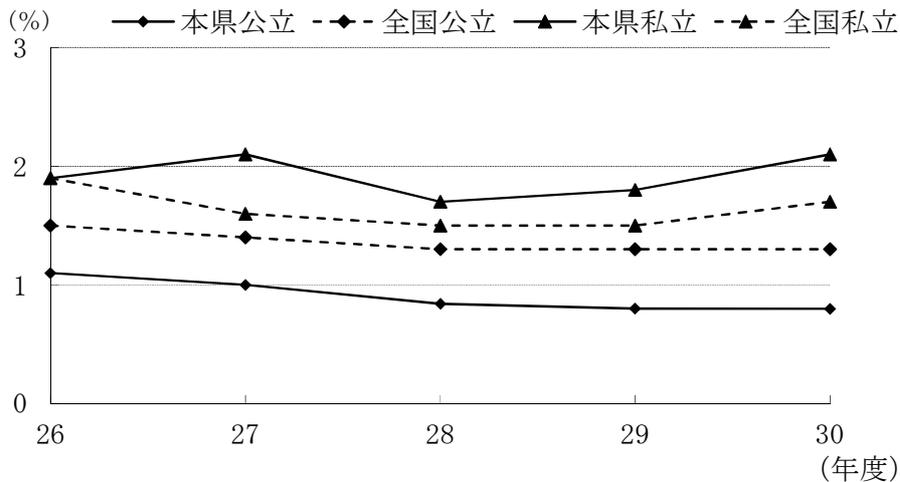
(単位：人、% (括弧内は計に占める割合))

区分 分類	児童 生徒別 数	学校に係る状況									家庭 に係る 状況	左記 に該当 なし
		い じめ	関 係 い じ め を 除 く 友 題 人	教 職 員 と の 関 係 を め ぐ る 問 題	学 業 の 不 振	進 路 に 係 る 不 安	ク ラ ブ 活 動 等 へ の 不 適 応	学 校 の 決 ま り 等 を め ぐ る 問 題	入 学 、 転 編 入 学 、 進 級 時 の 不 適 応			
小学校	「学校における人間関係」に課題を抱えている	65 (15.2)	1 (100.0)	48 (53.3)	16 (57.1)	4 (7.1)	2 (16.7)	0 (0.0)	1 (6.7)	2 (10.0)	17 (6.8)	1 (2.2)
	「あそび・非行」の傾向がある。	4 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.2)	1 (2.2)
	「無気力」の傾向がある。	130 (30.4)	0 (0.0)	8 (8.9)	5 (17.9)	19 (33.9)	3 (25.0)	0 (0.0)	3 (20.0)	5 (25.0)	99 (39.4)	8 (17.4)
	「不安」の傾向がある。	140 (32.8)	0 (0.0)	33 (36.7)	6 (21.4)	25 (44.6)	7 (58.3)	0 (0.0)	8 (53.3)	11 (55.0)	66 (26.3)	23 (50.0)
	「その他」	88 (20.6)	0 (0.0)	1 (1.1)	1 (3.6)	8 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (20.0)	2 (10.0)	66 (26.3)	13 (28.3)
	計 〈〉は昨年度との差	427 〈+133〉	1 〈+0〉	90 〈+30〉	28 〈+14〉	56 〈+25〉	12 〈+8〉	0 〈+0〉	15 〈+6〉	20 〈+13〉	251 〈+87〉	46 〈-9〉
中学校	「学校における人間関係」に課題を抱えている	341 (22.8)	0 (0.0)	246 (56.4)	14 (46.7)	35 (13.7)	7 (9.5)	11 (47.8)	3 (8.3)	15 (18.3)	32 (6.3)	10 (4.5)
	「あそび・非行」の傾向がある。	35 (2.3)	0 (0.0)	1 (0.2)	2 (6.7)	9 (3.5)	3 (4.1)	2 (8.7)	10 (27.8)	1 (1.2)	19 (3.8)	4 (1.8)
	「無気力」の傾向がある。	503 (33.6)	0 (0.0)	45 (10.3)	4 (13.3)	128 (50.0)	35 (47.3)	2 (8.7)	7 (19.4)	21 (25.6)	234 (46.3)	82 (36.8)
	「不安」の傾向がある。	372 (24.9)	0 (0.0)	123 (28.2)	6 (20.0)	65 (25.4)	27 (36.5)	8 (34.8)	8 (22.2)	22 (26.8)	116 (23.0)	41 (18.4)
	「その他」	245 (16.4)	0 (0.0)	21 (4.8)	4 (13.3)	19 (7.4)	2 (2.7)	0 (0.0)	8 (22.2)	23 (28.0)	104 (20.6)	86 (38.6)
	計 〈〉は昨年度との差	1,496 〈+127〉	0 〈+0〉	436 〈-9〉	30 〈+2〉	256 〈+41〉	74 〈+38〉	23 〈+2〉	36 〈+1〉	82 〈+3〉	505 〈+57〉	223 〈+43〉
高等学校	「学校における人間関係」に課題を抱えている	130 (17.2)	0 (0.0)	103 (63.2)	9 (52.9)	8 (5.9)	8 (7.1)	10 (38.5)	4 (12.5)	12 (7.6)	10 (6.8)	2 (1.3)
	「あそび・非行」の傾向がある。	30 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (3.0)	3 (2.7)	1 (3.8)	13 (40.6)	5 (3.2)	3 (2.0)	8 (5.0)
	「無気力」の傾向がある。	260 (34.4)	0 (0.0)	16 (9.8)	0 (0.0)	74 (54.8)	30 (26.8)	8 (30.8)	12 (37.5)	77 (48.7)	60 (40.8)	50 (31.4)
	「不安」の傾向がある。	224 (29.6)	0 (0.0)	37 (22.7)	8 (47.1)	43 (31.9)	64 (57.1)	7 (26.9)	3 (9.4)	55 (34.8)	44 (29.9)	36 (22.6)
	「その他」	112 (14.8)	0 (0.0)	7 (4.3)	0 (0.0)	6 (4.4)	7 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (5.7)	30 (20.4)	63 (39.6)
	計 〈〉は昨年度との差	756 〈+38〉	0 〈-1〉	163 〈+29〉	17 〈-3〉	135 〈-23〉	112 〈+6〉	26 〈+1〉	32 〈-2〉	158 〈+14〉	147 〈+13〉	159 〈+28〉

平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果 (鹿児島県公立学校)

5 高等学校の中途退学の状況

(1) 年次別推移



(単位：人, %)

年度	26	27	28	29	30
本県公立	349 (1.1)	332 (1.0)	252 (0.8)	247 (0.8)	244 (0.8)
全国公立	33,982 (1.5)	31,083 (1.4)	29,963 (1.3)	28,929 (1.3)	28,513 (1.3)
本県私立	272 (1.9)	295 (2.1)	238 (1.7)	249 (1.8)	305 (2.1)
全国私立	19,366 (1.9)	18,136 (1.6)	17,617 (1.5)	17,822 (1.5)	20,039 (1.7)

() は退学率

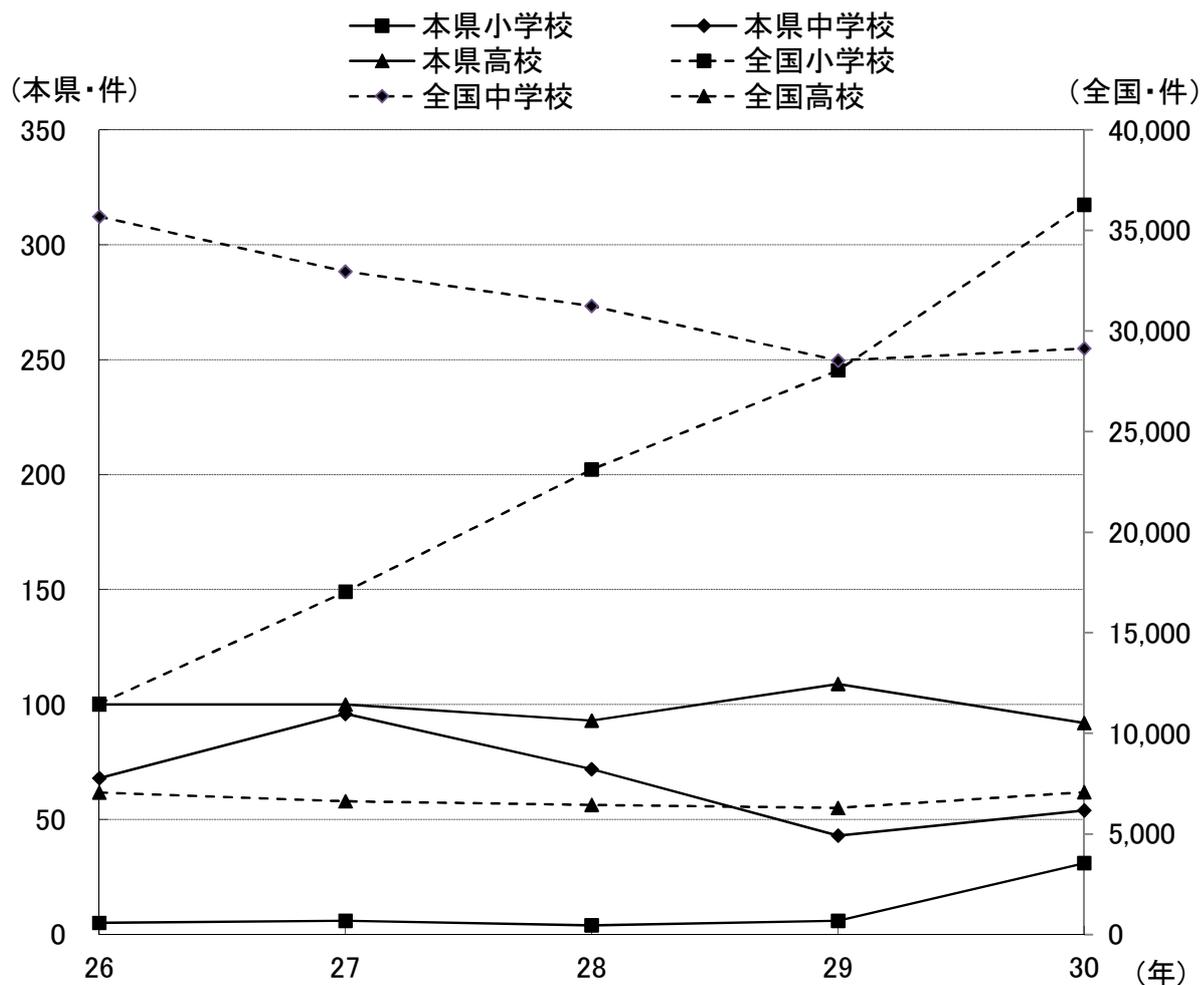
資料：文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

(2) 中途退学の主な理由

	人数	(%)	全国 (%)
学業不振	4	1.6	7.8
学校生活・学業不適応	57	23.4	34.2
もともと高校生活に熱意がない	21	8.6	12.0
授業に興味を湧かない	6	2.5	4.2
人間関係がうまく保てない	14	5.7	7.2
学校の雰囲気合わない	10	4.1	5.2
その他	6	2.5	5.7
進路変更	140	57.4	35.3
別の高校への希望	32	13.1	16.0
専修・各種学校への入学希望	4	1.6	1.3
就職希望	71	29.1	9.7
高卒程度認定試験受験希望	14	5.7	3.3
その他	19	7.8	5.1
病気・けが・死亡	19	7.8	4.3
経済的理由	1	0.4	2.0
家庭の事情	16	6.6	4.2
問題行動等	5	2.0	3.8
その他の理由	2	0.8	8.4
計	244		

資料：文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」
(鹿児島県公立学校)

6 暴力行為の状況(公立・私立学校)



(単位：件数)

年 度		26	27	28	29	30
本 県	小学校	5	6	4	6	31
	中学校	68	96	72	43	54
	高 校	100	100	93	109	92
	合 計	173	202	169	158	177
全 国	小学校	11,472	17,043	23,120	28,051	36,278
	中学校	35,683	32,963	31,235	28,533	29,133
	高 校	7,056	6,622	6,444	6,295	7,076
	合 計	54,211	56,628	60,799	62,879	72,487

資料：文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

※ 小学校には義務教育学校前期課程，中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程，高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

※ 暴力行為とは，「対教師暴力」，「生徒間暴力」，「対人暴力」，「器物損壊」を合わせたものである。

第4章 地域社会

1 地域資源

(1) NPO法人数（令和2年6月末時点）

認証法人数	うち「子どもの健全育成を図る活動」 を活動分野とするNPO法人数
880法人	522法人

鹿児島県共生・協働センターHPより

(2) 年度別かごしま地域塾数の推移

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
団体数	12	22	26	32	43	55	63	76	84	90	96	98	103	113

青少年男女共同参画課調べ

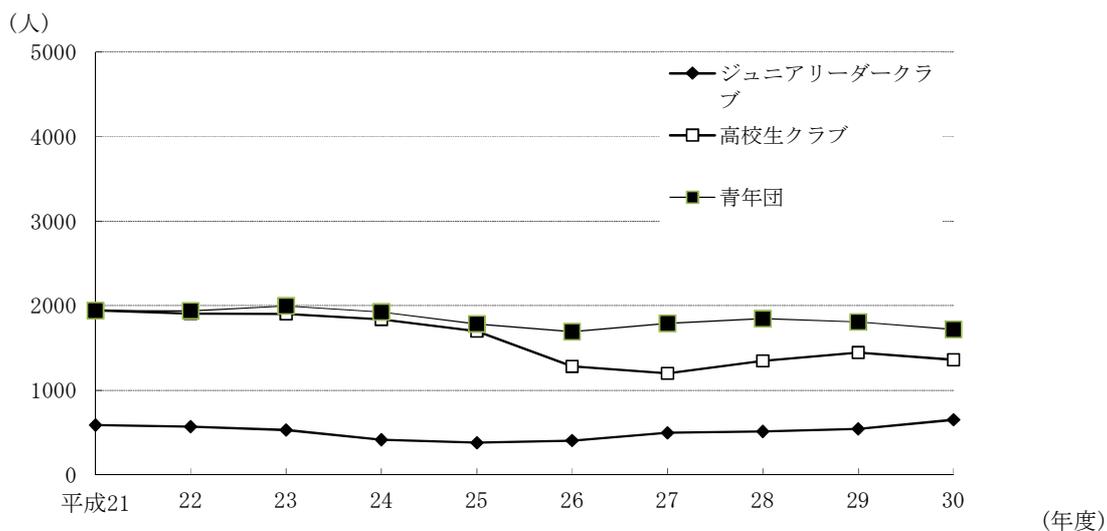
2 青少年活動の状況

(1) 団体活動の加入状況

青少年団体名	少年団体	ジュニアリーダークラブ	高校生クラブ	青年団	加入者数
29年度(人)	105,030	542	1,446	1,806	108,824
30年度(人)	96,700	651	1,360	1,718	100,429

資料：平成30年度鹿児島県の社会教育・生涯学習の現状

(2) 高校生クラブ及び青年団の加入状況の推移



【加入者数】

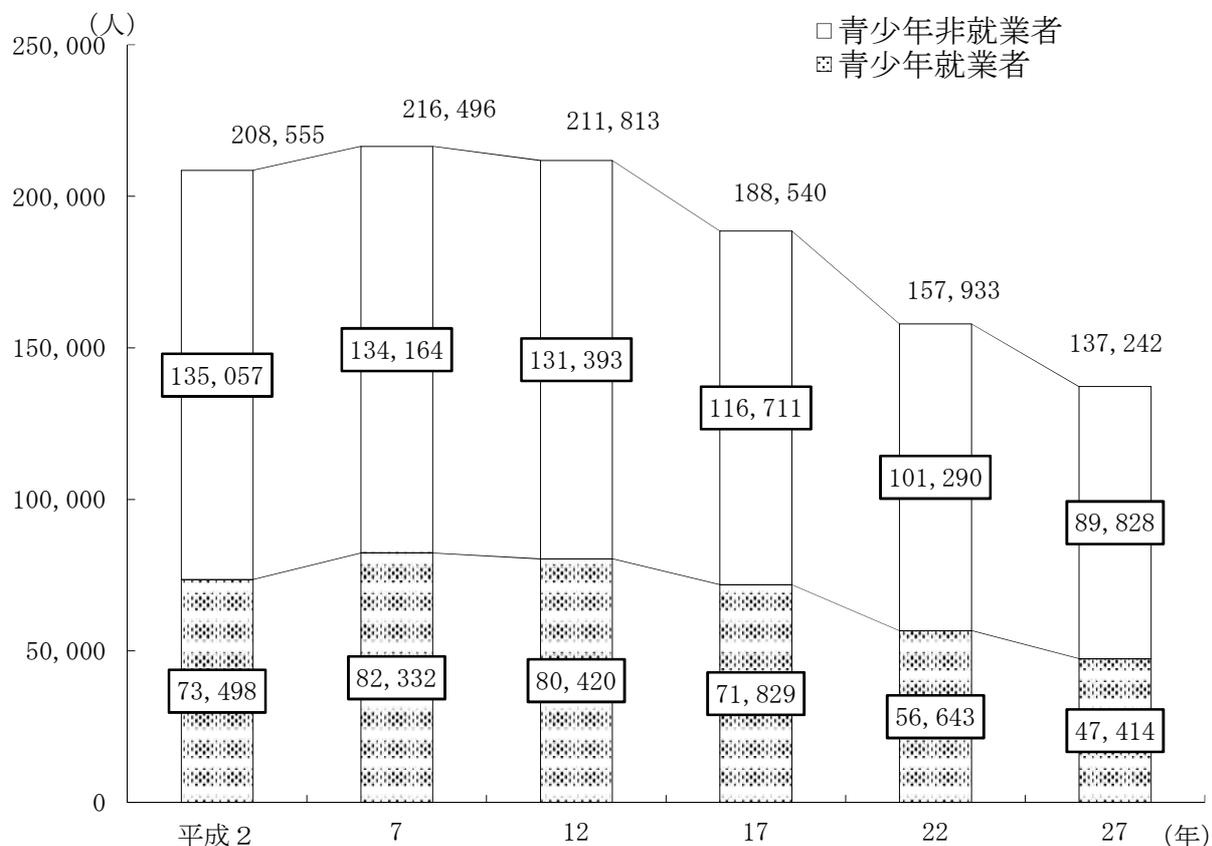
(単位：人)

年 度	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ジュニアリーダークラブ	588	569	531	416	380	405	498	515	542	651
高校生クラブ	1,945	1,904	1,901	1,837	1,700	1,281	1,201	1,346	1,446	1,360
青年団	1,941	1,938	1,996	1,924	1,784	1,693	1,792	1,847	1,806	1,718

資料：平成30年度鹿児島県の社会教育・生涯学習の現状

第5章 雇用

1 県内就業者数



(単位：人)

年	平成 2	7	12	17	22	27
青少年就業者	73,498	82,332	80,420	71,829	56,643	47,414
青少年非就業者	135,057	134,164	131,393	116,711	101,290	89,828
総人口	208,555	216,496	211,813	188,540	157,933	137,242

資料：国勢調査

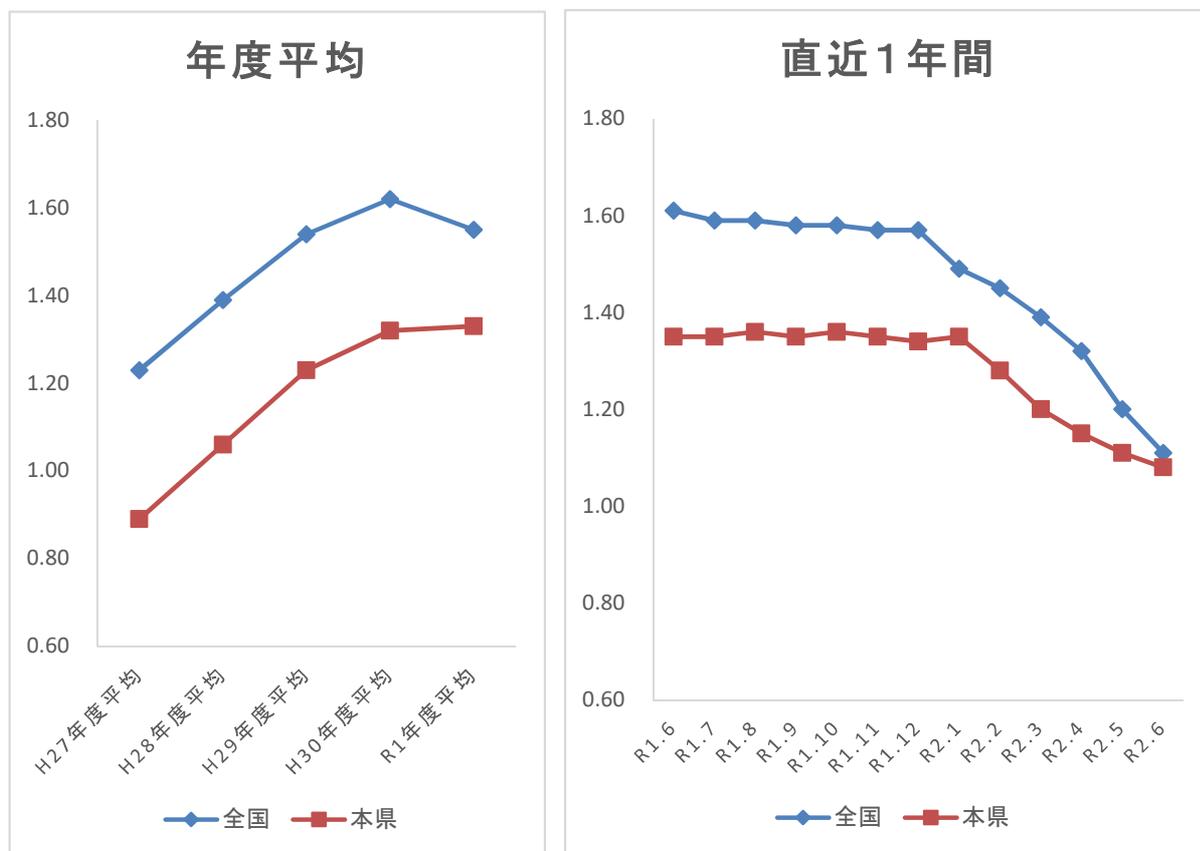
※ 平成17年については、日本標準産業分類第12回改定（H19.11）に伴う
組替集計結果による

※ 非就業者には不詳を含む

県内の青少年就業者（15歳～24歳）は、平成27年は47,414人で平成22年の56,643人に対して、9,229人（16.3%）減少した。

なお、15歳～24歳の人口のうち就業者の割合は34.5%で平成22年の35.9%より1.4ポイント減少した。

2 有効求人倍率

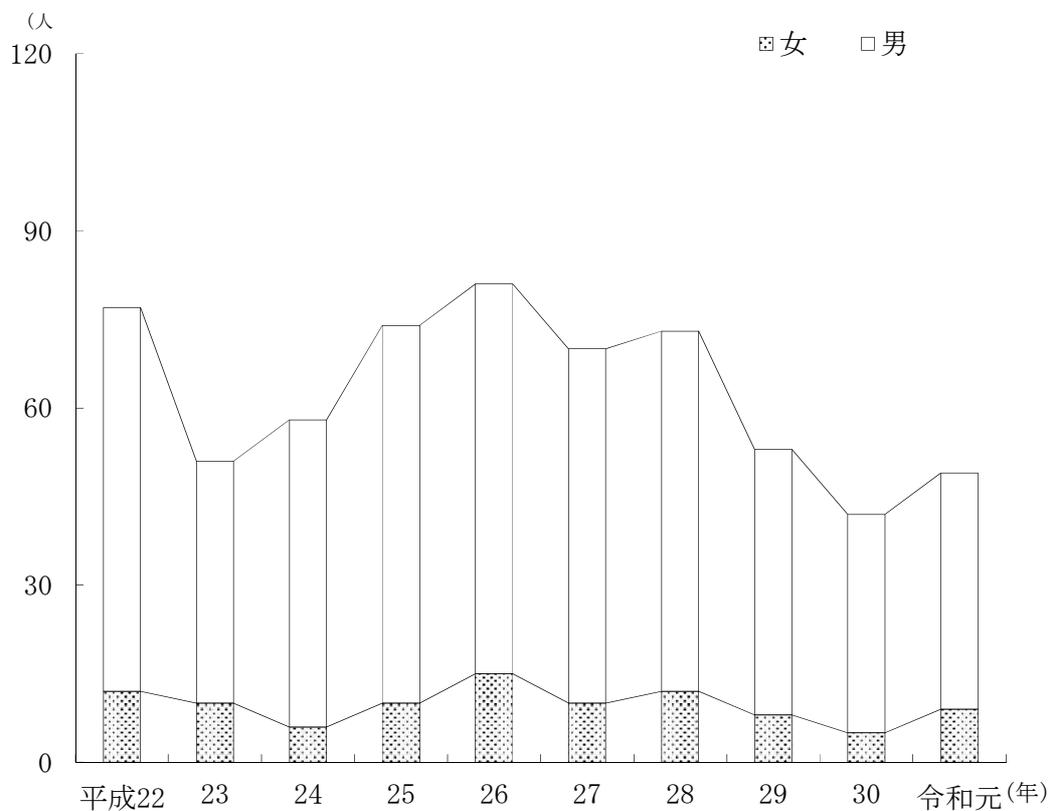


																		(単位：倍)
	H27年 度平均	H28年 度平均	H29年 度平均	H30年 度平均	R1年度 平均	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
全国	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55	1.61	1.59	1.59	1.58	1.58	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11
本県	0.89	1.06	1.23	1.32	1.33	1.35	1.35	1.36	1.35	1.36	1.35	1.34	1.35	1.28	1.20	1.15	1.11	1.08

資料：鹿児島労働局

3 県内の新規学校卒業者の就職状況

(1) 年次別推移(中学校卒業生)



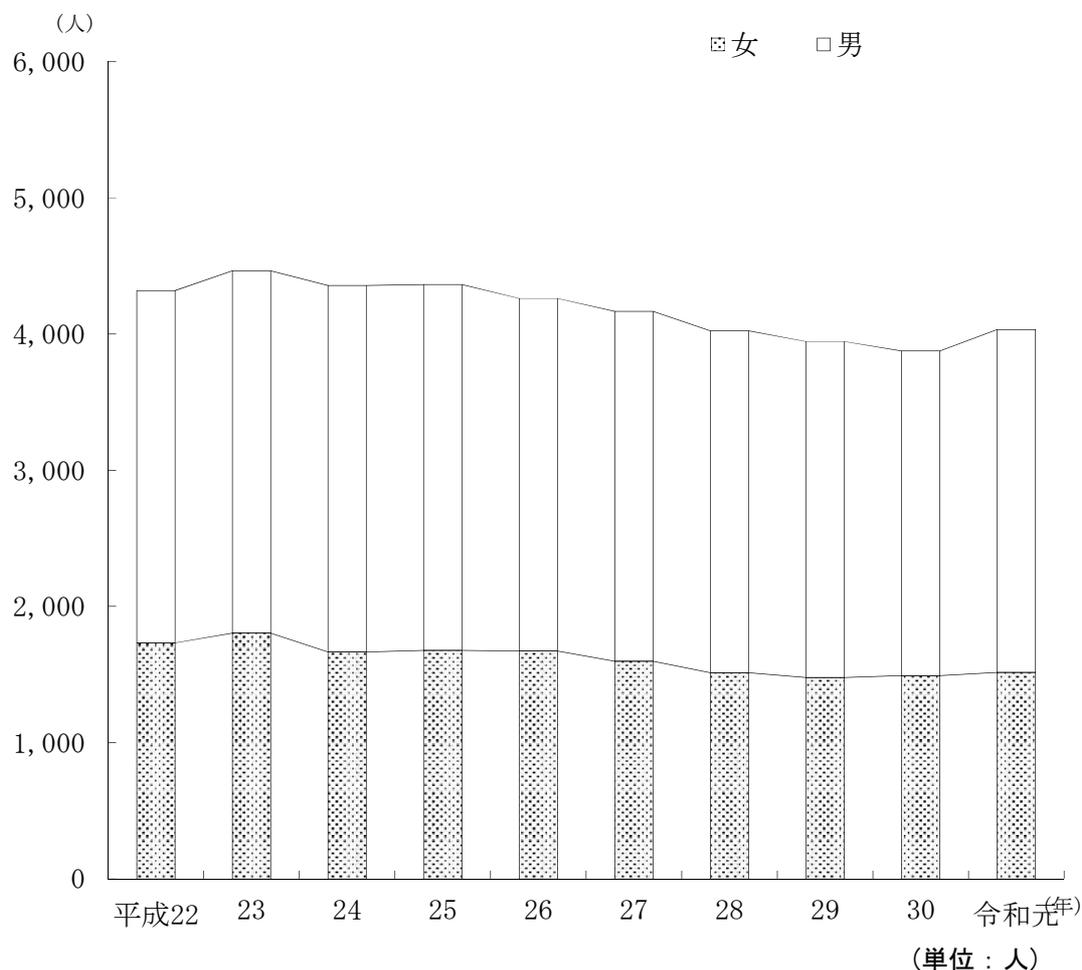
(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
女	12	10	6	10	15	10	12	8	5	9
男	65	41	52	64	66	60	61	45	37	40
計	77	51	58	74	81	70	73	53	42	49

資料：令和元年度学校基本統計（学校基本調査報告書）

中学校卒業の就職者数は、令和元年は49人（男40人 女9人）で卒業生総数(15,422人)の0.3%で、前年(0.3%)と同率となった。

(2) 年次別推移(高等学校卒業者)



年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
女	1,733	1,803	1,664	1,678	1,673	1,597	1,512	1,478	1,491	1,515
男	2,586	2,661	2,692	2,685	2,588	2,570	2,511	2,466	2,384	2,519
計	4,319	4,464	4,356	4,363	4,261	4,167	4,023	3,944	3,875	4,034

資料：令和元年度学校基本統計（学校基本調査報告書）

高等学校卒業の就職者は、令和元年は4,034人(男2,519人 女1,515人)で、卒業者総数(14,607人)の27.6%に当たり、前年(3,875人)よりも159人(4.1%)増加した。また、就職率は27.6%で、前年(26.7%)より0.9%増加した。

4 雇用者の労働形態

(千人, %, ポイント)

雇用形態	男女	実数			割合		
		総数	男女		総数	男女	
			男	女		男	女
平成 29 年	雇用者（役員を除く）	651.8	326.5	325.3	100.0	100.0	100.0
	正規の職員・従業員	389.4	252.2	137.1	59.7	77.2	42.1
	パート	143.6	13.5	130.1	22.0	4.1	40.0
	アルバイト	42.3	22.3	20.0	6.5	6.8	6.1
	労働者派遣事務所の派遣社員	7.1	2.5	4.6	1.1	0.8	1.4
	契約社員	35.3	20.1	15.2	5.4	6.2	4.7
	嘱託 その他	17.0 17.1	10.0 5.8	7.0 11.3	2.6 2.6	3.1 1.8	2.2 3.5
平成 24 年	雇用者（役員を除く）	649.0	328.3	320.7	100.0	100.0	100.0
	正規の職員・従業員	389.7	254.2	135.5	60.0	77.4	42.3
	パート	129.1	11.1	118.0	19.9	3.4	36.8
	アルバイト	45.7	24.5	21.2	7.0	7.5	6.6
	労働者派遣事務所の派遣社員	6.1	2.9	3.2	0.9	0.9	1.0
	契約社員	34.7	16.8	17.9	5.3	5.1	5.6
	嘱託 その他	15.8 28.0	9.6 9.1	6.1 18.8	2.4 4.3	2.9 2.8	1.9 5.9
増 減	雇用者（役員を除く）	2.8	△ 1.8	4.6	—	—	—
	正規の職員・従業員	△ 0.3	△ 2.0	1.6	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2
	パート	14.5	2.4	12.1	2.1	0.7	3.2
	アルバイト	△ 3.4	△ 2.2	△ 1.2	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.5
	労働者派遣事務所の派遣社員	1.0	△ 0.4	1.4	0.2	△ 0.1	0.4
	契約社員	0.6	3.3	△ 2.7	0.1	1.1	△ 0.9
	嘱託 その他	1.2 △ 10.9	0.4 △ 3.3	0.9 △ 7.5	0.2 △ 1.7	0.2 △ 1.0	0.3 △ 2.4

注1) 「パート」、「アルバイト」等の雇用形態勤め先での呼称による。

注2) 「割合」欄の増減は、平成29年と24年のポイント差を記載

資料：鹿児島県企画部統計課平成29年就業構造基本調査結果～鹿児島県の概要～

5 新規学校卒業者の離職状況

【中学校】

項目 卒業年月		① 就職者数	②卒業時から平 31年3月までの間 における離職状		③ 在職期間別離職状況 (②の内訳)						
					1年目		2年目		3年目		
			離職者数	離職率	離職者数	離職率	離職者数	離職率	離職者数	離職率	
鹿児島県	28年3月	計	18	15	83.3	9	50.0	6	33.3	0	0.0
		男	13	12	92.3	8	61.5	4	30.8	0	0.0
		女	5	3	60.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0
	29年3月	計	16	10	62.5	6	37.5	4	25.0		
		男	11	9	81.8	6	54.5	3	27.3		
		女	5	1	20.0	0	0.0	1	20.0		
	30年3月	計	13	4	30.8	4	30.8				
		男	12	4	33.3	4	33.3				
		女	1	0	0.0	0	0.0				
全 国	28年3月	計	1,190	743	62.4	489	41.1	162	13.6	92	7.7
		男	922	562	61.0	372	40.3	117	12.7	73	7.9
		女	268	181	67.5	117	43.7	45	16.8	19	7.1
	29年3月	計	1,138	579	50.9	416	36.6	163	14.3		
		男	905	445	49.2	321	35.5	124	13.7		
		女	233	134	57.5	95	40.8	39	16.7		
	30年3月	計	1,115	389	34.9	389	34.9				
		男	879	295	33.6	295	33.6				
		女	236	94	39.8	94	39.8				

【高等学校】

項目 卒業年月		① 就職者数	②卒業時から平 31年3月までの間 における離職状		③ 在職期間別離職状況 (②の内訳)						
					1年目		2年目		3年目		
			離職者数	離職率	離職者数	離職率	離職者数	離職率	離職者数	離職率	
鹿児島県	28年3月	計	2,216	990	44.7	429	19.4	314	14.2	247	11.1
		男	1,077	404	37.5	181	16.8	133	12.3	90	8.4
		女	1,139	586	51.4	248	21.8	181	15.9	157	13.8
	29年3月	計	2,144	703	32.8	385	18.0	318	14.8		
		男	1,070	327	30.6	178	16.6	149	13.9		
		女	1,074	376	35.0	207	19.3	169	15.7		
	30年3月	計	2,226	400	18.0	400	18.0				
		男	1,135	180	15.9	180	15.9				
		女	1,091	220	20.2	220	20.2				
全 国	28年3月	計	178,579	69,972	39.2	31,031	17.4	20,943	11.7	17,998	10.1
		男	105,957	36,100	34.1	15,817	14.9	10,767	10.2	9,516	9.0
		女	72,622	33,872	46.6	15,214	20.9	10,176	14.0	8,482	11.7
	29年3月	計	179,478	52,841	29.4	30,806	17.2	22,035	12.3		
		男	106,464	27,298	25.6	15,770	14.8	11,528	10.8		
		女	73,014	25,543	35.0	15,036	20.6	10,507	14.4		
	30年3月	計	175,006	29,370	16.8	29,370	16.8				
		男	104,809	15,144	14.4	15,144	14.4				
		女	70,197	14,226	20.3	14,226	20.3				

資料：鹿児島労働局

(注) 当データは、厚生労働省が管理している雇用保険被保険者の記録を基に、鹿児島県内ハローワークに対して、雇用保険の加入届が提出された新規被保険者資格取得者の生年月日等から各学歴ごとに新規学校卒業者と推定される就職者数を算出し、更にその離職日から離職者数・離職率を算出している。

なお、雇用保険の遡及適用等の関係により、離職率は毎年再計算しているため、1年目、2年目の離職率は昨年度の資料と一致しないことがある。

(参考) ひきこもり, ニート, フリーターの数 (推計値)

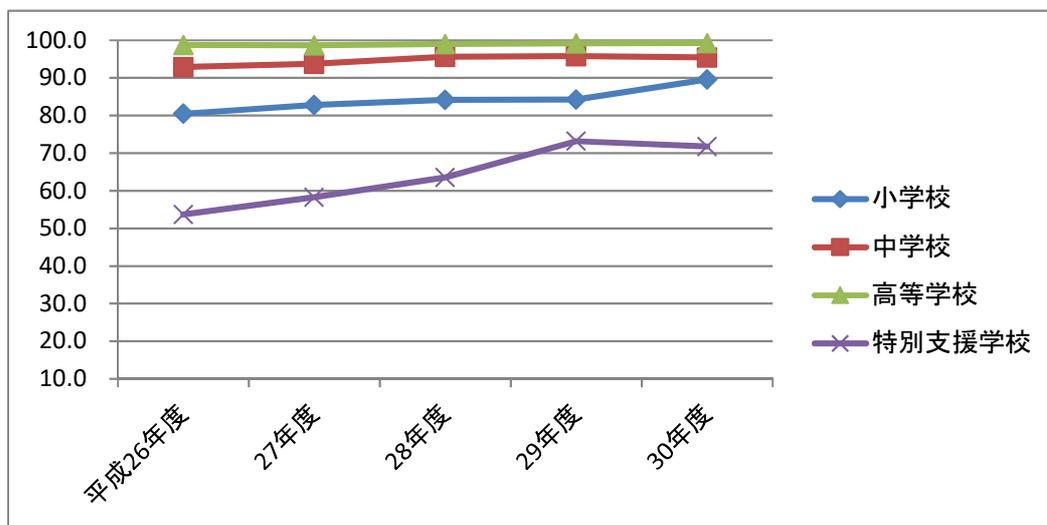
区分	全国	鹿児島県	備考 (出典)
ひきこもり	17万6千人	2,000人	全国:平成27年度内閣府「若者の生活に関する調査(ひきこもりに関する実態調査)」による推計値(平成27年度の全国の15~39歳人口×狭義のひきこもりの率0.51%) 本県:上記の結果を単純に本県に当てはめた場合の推計値(平成27年度の本県の15~39歳人口×狭義のひきこもりの率0.51%)
ニート	56万人	8,700人	全国:総務省統計局「労働力調査」R元平均より 本県:総務省統計局「平成29年就業構造基本調査結果」鹿児島県の概要より
フリーター	138万人	15,200人	全国:総務省統計局「労働力調査」R元平均より 本県:独立行政法人「労働政策研究・研修機構」R元.6月資料「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③-平成29年版『就業構造基本調査』より-

※ ひきこもり, ニート, フリーターの定義

区分	定義
ひきこもり	仕事や学校に行かず,かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに,6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態 (厚生労働省)
ニート	15~34歳で,非労働力人口のうち家事も通学もしていない方 (総務省統計局労働力調査)
フリーター	15~34歳の男性又は未婚の女性(学生を除く)で,パート・アルバイトして働く者又はこれを希望する者 (総務省統計局労働力調査)

第6章 情報通信環境

1 県内の児童・生徒のインターネット接続機器の所持率(所持又は使用と回答した割合)

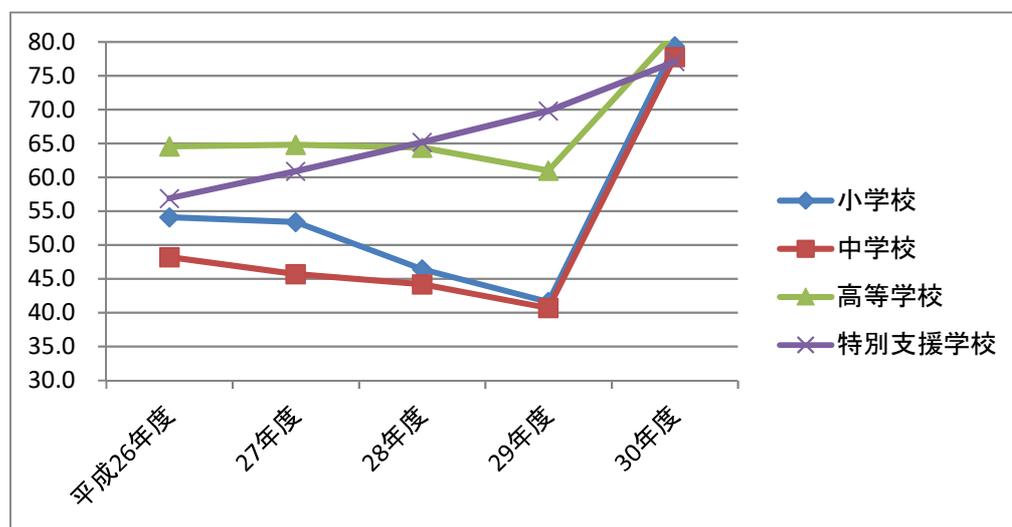


単位：％

	平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	80.5	82.8	84.2	84.3	89.6
中学校	92.9	93.8	95.6	95.8	95.5
高等学校	98.8	98.7	99.0	99.2	99.3
特別支援学校	53.7	58.3	63.6	73.2	71.8

資料：「インターネット利用等に関する調査」
※ H30年度：保護者対象調査

2 県内の自分専用の携帯電話(スマートフォンを含む)所持者のフィルタリング設定率



単位：％

	平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	54.1	53.4	46.4	41.6	79.4
中学校	48.2	45.7	44.2	40.7	77.8
高等学校	64.6	64.8	64.4	61.0	81.4
特別支援学校	56.9	60.9	65.2	69.8	77.1

資料：「インターネット利用等に関する調査」
※ H30年度：保護者対象調査

3 県内の子どもの平日の平均利用時間

(単位:%)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
利用していない	21.1	10.2	1.7	36.4
30分未満	28.7	20.6	6.9	12.2
30分以上～1時間未満	24.2	26.4	17.3	15.2
1時間以上～2時間未満	16.0	24.6	31.5	17.0
2時間以上～3時間未満	4.8	10.5	23.3	10.4
3時間以上～4時間未満	1.2	3.3	10.0	4.5
5時間以上～5時間未満	0.5	1.4	3.5	1.9
5時間以上	0.9	1.2	3.5	1.2
未回答	2.6	1.8	2.3	1.2

資料:平成30年度「インターネット利用等に関する調査」
※ H30年度:保護者対象調査

4 インターネット・リテラシー

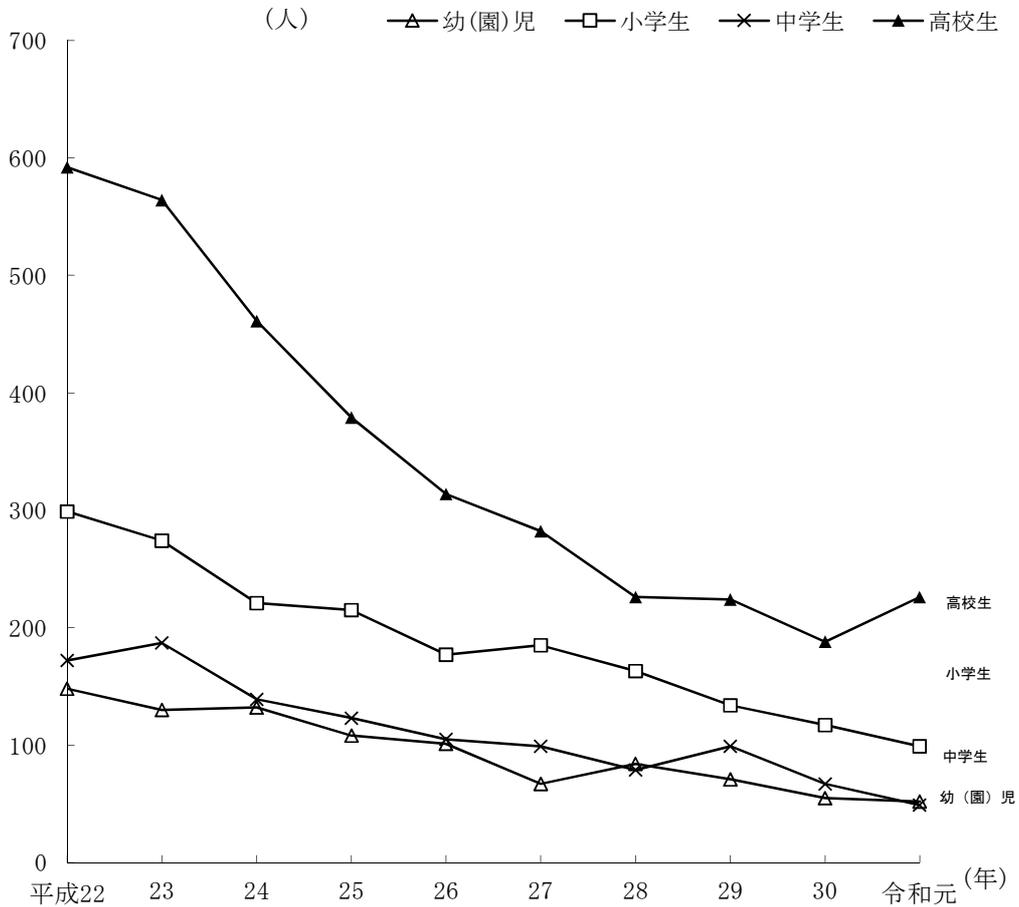
リスク分類	具体例	正答率(%)	
		2015年度	2019年度
有害情報リスク	不適切投稿, 炎上, 閲覧制限等	68.2%	66.0%
不適切利用リスク	過大消費, 依存, 歩きスマホ, マナー等	82.4%	78.9%
セキュリティリスク	ID, パスワード, ウイルス対策等	65.3%	66.8%

資料:総務省「2019年度 青少年のインターネット・リテラシー指標等に係る調査結果」
※ 全国57高等学校の1年生7,252人を対象に無記名形式でテストを実施

第7章 安全・健康

1 交通事故

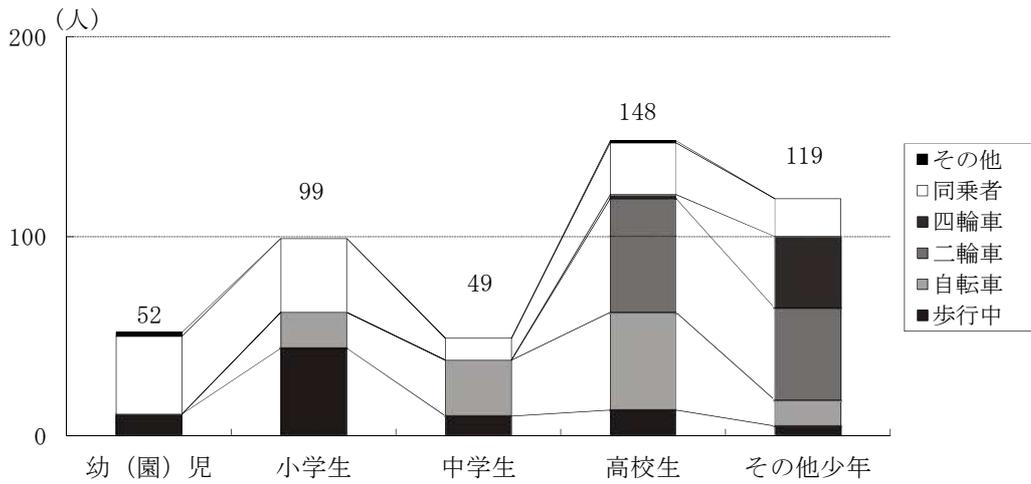
(1) 子供の死傷者年次別推移



	年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
死者	幼(園)児	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	小学生	1	1	0	0	4	1	0	0	0	2
	中学生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	1	0	1	3	1	0	0	1	4	1
	計	6	1	2	3	5	2	0	1	5	3
傷者	幼(園)児	145	130	131	108	101	66	84	71	54	52
	小学生	298	273	221	215	173	184	163	134	117	97
	中学生	171	187	139	123	105	99	79	99	67	49
	高校生	591	564	460	376	313	282	226	223	184	147
	計	1,205	1,154	951	822	692	631	822	822	422	345
死傷者数		1,211	1,155	953	825	697	633	825	825	427	348

資料：県警察本部

(2) 状態別死傷者数 (令和元年中)



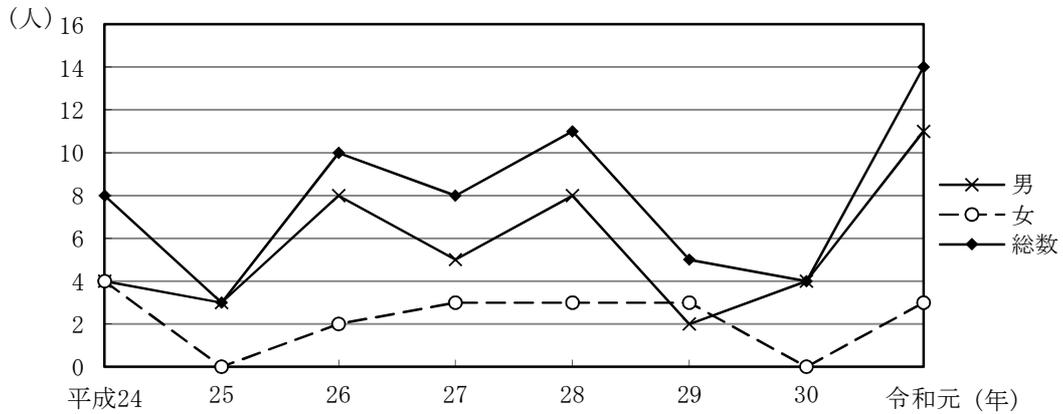
	幼(園)児	小学生	中学生	高校生	その他少年
歩行中	11	44	10	13	5
自転車	0	18	28	49	13
二輪車	0	0	0	57	46
四輪車	0	0	0	2	36
同乗者	39	37	11	26	19
その他	2	0	0	1	0
計(人)	52	99	49	148	119

資料：県警察本部

令和元年中、少年の交通事故死者は、小学生2人、高校生が1人であった。
 事故原因は、幼(園)児・小学生では、歩行中の飛び出し、中学生では、自転車走行中の安全不確認、高校生では、二輪車運転中の前方不注視、安全不確認、動静不注視、その他少年では、自動車、二輪車運転中の前方不注視、安全不確認が多い。

2 自殺

(1) 年次別推移



年別	平成24		25		26		27		28		29		30		令和元	
男女別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
～19歳	4	4	3	0	8	2	5	3	8	3	2	3	4		11	3
総数	8		3		10		8		11		5		4		14	

資料：県警察本部

(2) 原因別状況

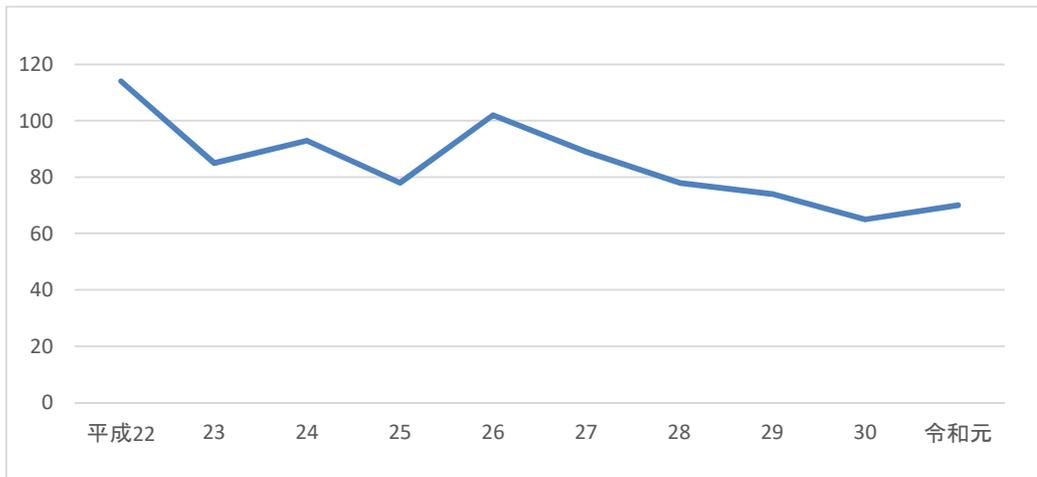
年別	平成24	25	26	27	28	29	30	令和元
精神疾患	1 (1)		2		2	1 (1)		
異性関係			1 (1)	1				2 (1)
成績苦 学業不振			2 (1)	1			2	1
病気					0	1	1	
えん世		1			3 (1)			4 (1)
その他	7 (3)	2	5	6 (3)	6 (2)	3 (2)	1	7 (1)
総数	8 (4)	3 (0)	10 (2)	8 (3)	11 (3)	5 (3)	4 (0)	14 (3)

() は内数で女性

資料：県警察本部

3 被害状況

(1) 少年の福祉を害する犯罪による被害者（福祉犯被害者の推移）



(単位：人)

年別	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
被害者総数	114	85	93	78	102	89	78	74	65	70
うち女子	81	50	57	30	39	54	49	41	47	44

資料：県警察本部

(2) 出会い系サイト等を介した少年（20歳未満）の性的被害状況

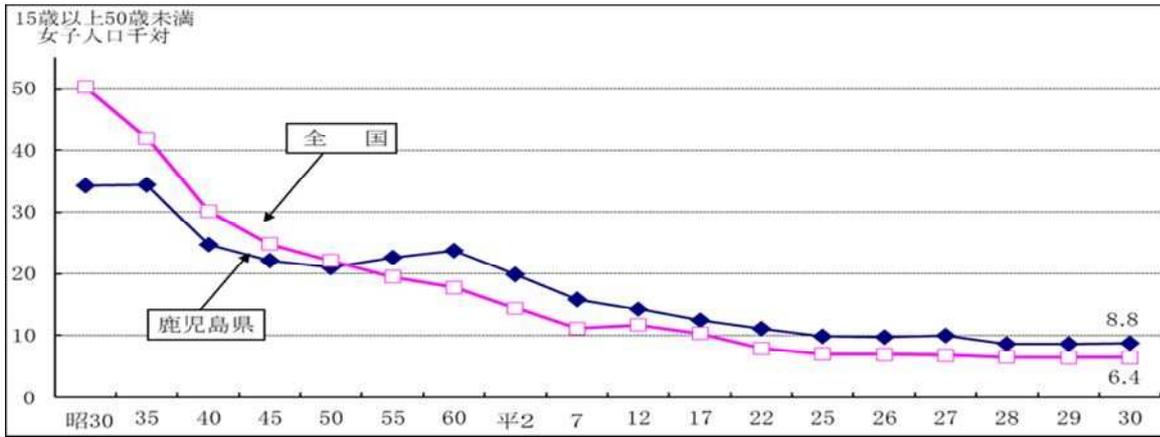
区分	事件数	検挙人数	被害少年数
平成26年	18	22	19
27年	16	16	18
28年	26	26	16
29年	28	28	21
30年	33	27	29
令和元年	28	25	26

資料：県警察本部

出会い系サイト等を介した少年が被害者となった犯罪は、28件（前年比5件減）で25人（前年比2人減）を検挙し、性被害に遭った少年26人（前年比3人減）を保護している。

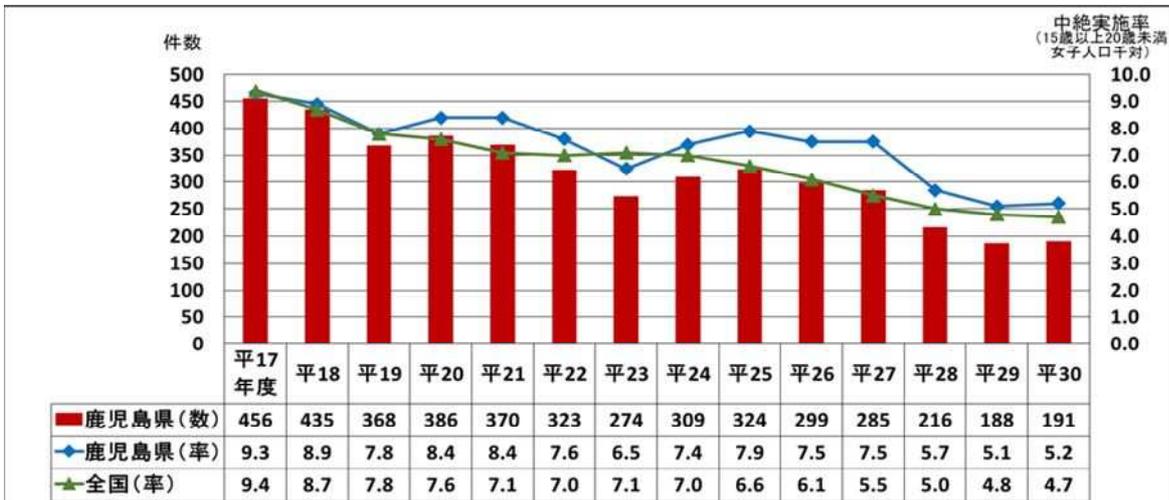
4 人工妊娠中絶

(1) 人工妊娠中絶実施率の年次推移



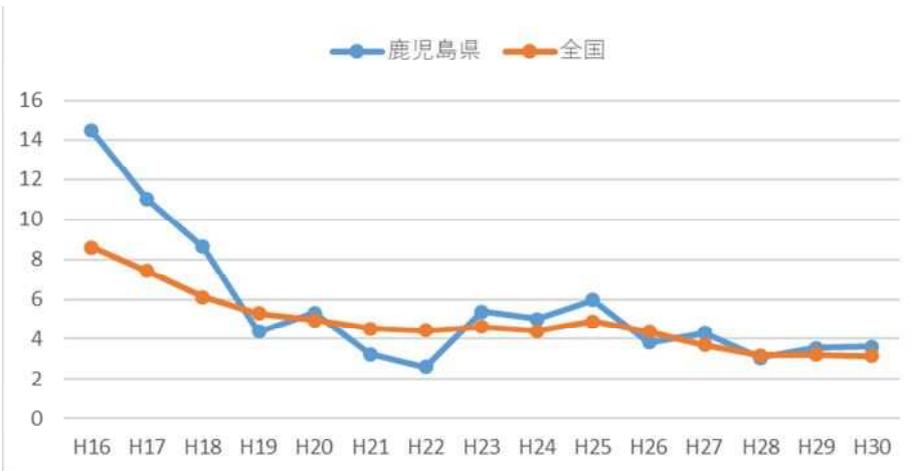
資料：子ども家庭課

(2) 10代の人工妊娠中絶



資料：子ども家庭課

5 10代の性感染症疾患



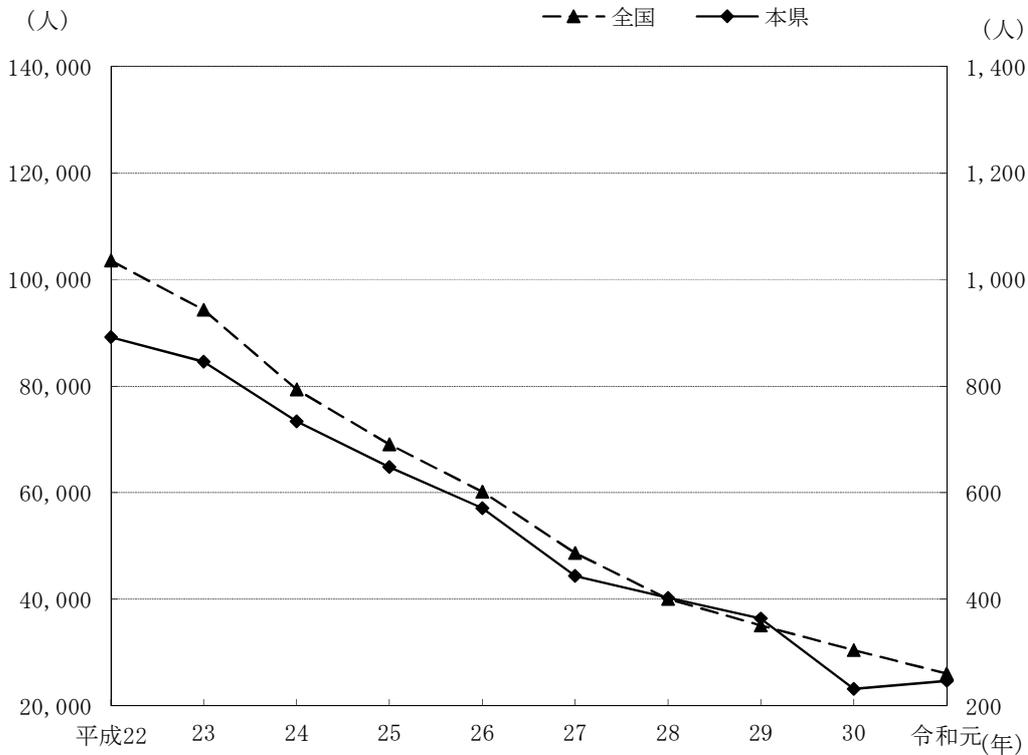
資料：健康増進課

※ 性感染症4疾患の計
(性器クラミジア症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症)

第8章 非行

1 刑法犯少年及び触法少年（刑法）の検挙・補導状況

(1) 年次別推移



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
本県	892	846	734	648	571	444	403	364	232	247
全国	103,573	94,312	79,393	69,061	60,207	48,680	40,103	35,108	30,458	26,076

資料：県警察本部

<247人の内訳>

小学生：48人 (19.4%)	中学生：81人 (32.8%)	高校生：64人 (25.9%)
他生徒：4人 (1.6%)	有職：37人 (15.0%)	無職：13人 (5.3%)

※刑法犯： 窃盗犯(155人)，粗暴犯(33人)，風俗犯(10人)，凶悪犯(4人)の順

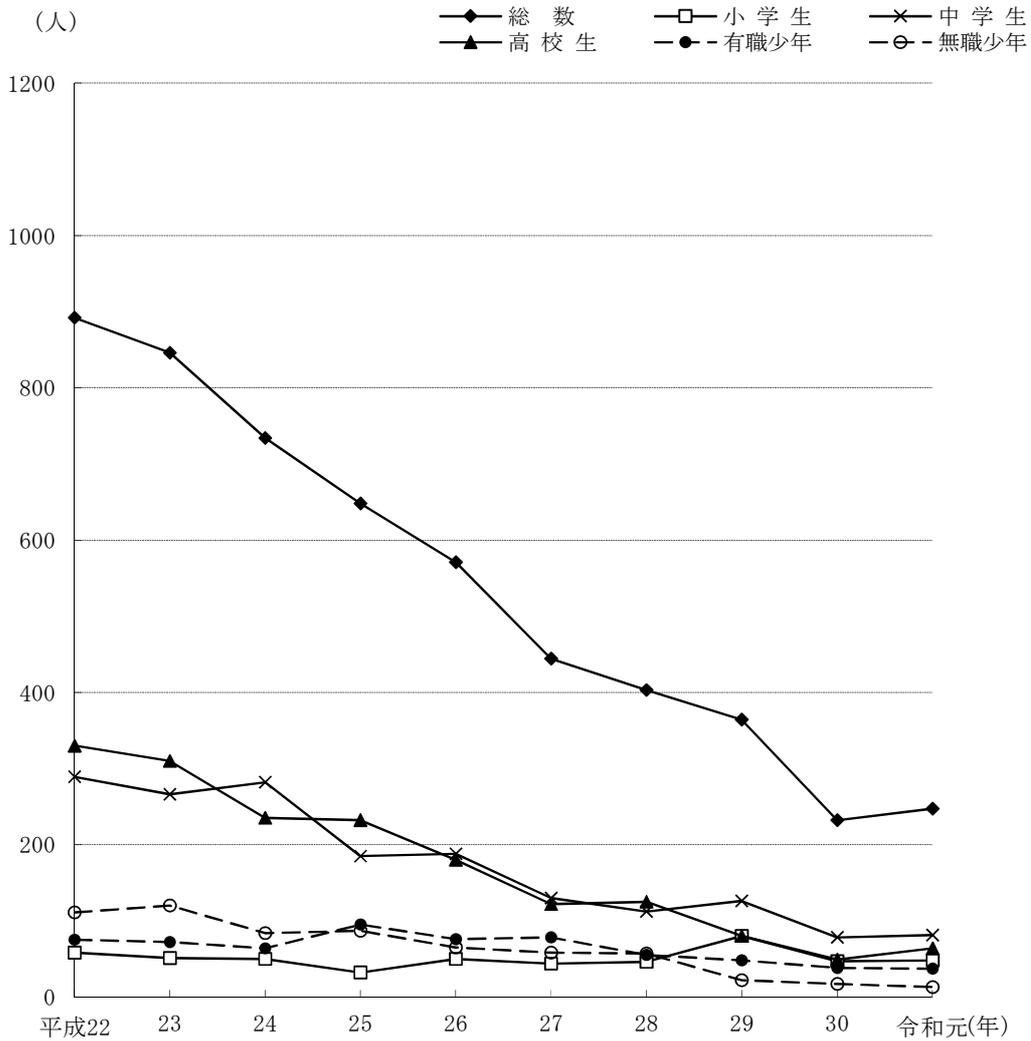
(2) 罪種別推移

(単位：人)

年		平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
刑法犯	凶悪犯	8	14	3	8	2	3	11	2	12	4
	粗暴犯	61	63	57	59	98	69	43	46	23	33
	窃盗犯	675	651	560	482	393	316	294	258	166	155
	知能犯	6	2	3	4	1	0	9	1	1	1
	風俗犯	5	8	13	13	3	4	3	11	4	10
	その他	137	108	98	82	74	52	43	46	26	44
計		892	846	734	648	571	444	403	364	232	247

資料：県警察本部

(3) 学職別推移



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	
総数	892	846	734	648	571	444	403	364	232	247	
未就学児	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
学生 生徒	小学生	58	51	50	32	50	44	46	80	47	48
	中学生	289	266	282	185	188	130	112	126	78	81
	高校生	330	310	235	232	180	122	125	80	49	64
	その他	29	27	19	16	12	12	8	8	3	4
有職少年	75	72	64	95	76	78	55	48	38	37	
無職少年	111	120	84	87	65	58	57	22	17	13	

資料：県警察本部

平成31年、令和元年中に検挙・補導された刑法犯少年は160人、触法少年(刑法)が87人で計247人、前年に比べ15人増加した。

2 シンナー等薬物乱用少年の検挙・補導状況

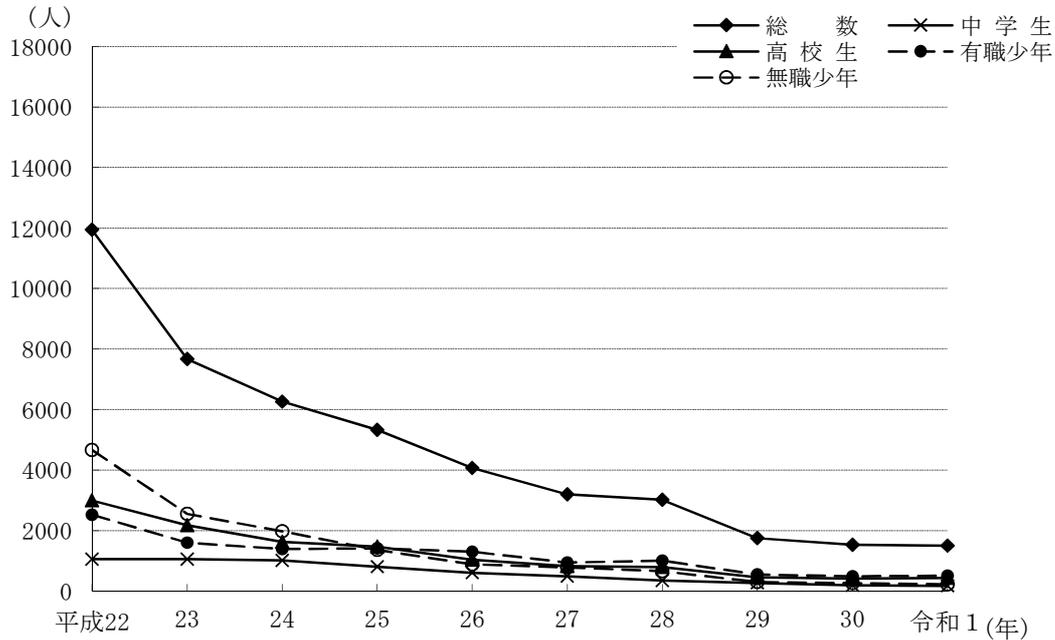
(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
総数	2	0	0	1	2	2	1	1	0	2
生徒 学生	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他学生	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	1
有職少年	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0
無職少年	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1

資料：県警察本部

3 ぐ犯・不良行為少年の補導状況

(1) 学職別・年次別推移



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和1
総数	11,939	7,666	6,264	5,333	4,067	3,198	3,020	1,752	1,535	1,506
未就学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生徒										
小学生	41	48	33	30	53	35	32	17	26	21
中学生	1,058	1,059	1,013	805	613	486	352	275	195	173
高校生	2,995	2,176	1,636	1,468	1,038	829	800	461	416	442
大学生	308	96	88	79	81	50	86	69	76	64
その他	347	127	123	167	92	65	89	70	73	63
有職少年	2,526	1,606	1,391	1,417	1,303	943	1,003	554	491	515
無職少年	4,663	2,554	1,980	1,367	887	790	658	306	258	228
(うち、ぐ犯少年)	24	11	13	2	11	7	6	3	13	13
(うち、不良行為少年)	11,915	7,655	6,251	5,331	4,056	3,191	3,014	1,749	1,522	1,493

資料：県警察本部

ぐ犯・不良行為少年は、前年に比べ29人(1.89%)減少している。

不良行為少年を行為別にみると「喫煙」、「深夜はいかい」の順で多く、両行為で83.7%を占めている。

不良行為少年の学職別では「有職少年」、「高校生」の順で多く、両者で63.5%を占めている。

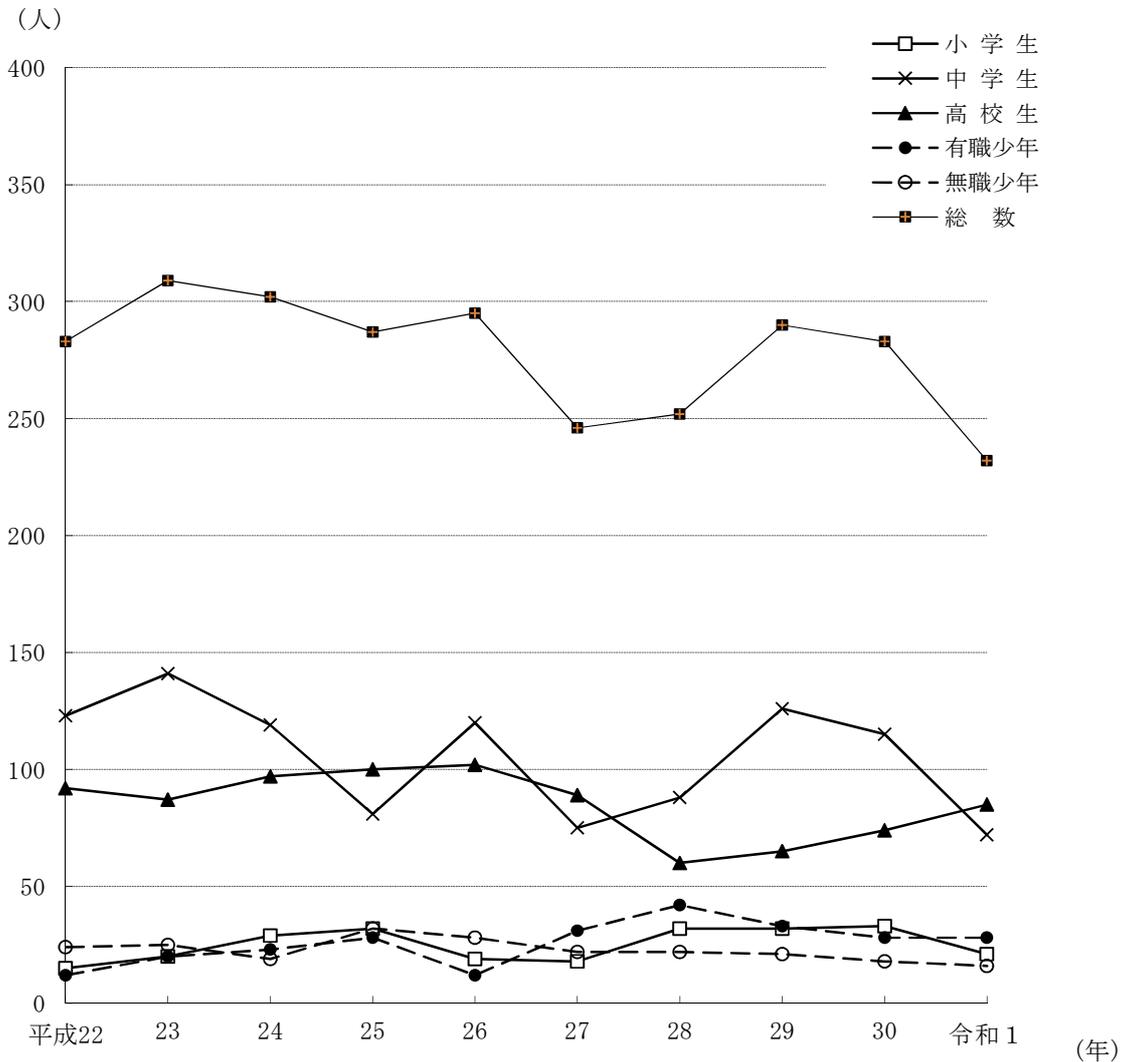
(2) 平成30年中不良行為ワースト5
(不良行為少年総数 …… 1,522 人)

- ① 喫煙 711 (46.7%)
- ② 深夜はいかい 523 (34.4%)
- ③ 飲酒 138 (9.1%)
- ④ 家出 75 (4.9%)
- ⑤ 怠学 30 (2.0%)

(3) 令和元年中不良行為ワースト5
(不良行為少年総数 … 1,493 人)

- ① 喫煙 662 (44.3%)
- ② 深夜はいかい 588 (39.4%)
- ③ 飲酒 110 (7.4%)
- ④ 家出 47 (3.1%)
- ⑤ 不健全娯楽 19 (1.3%)

4 行方不明少年の状況



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和1	
未就学	4	4	7	7	8	3	4	3	8	6	
生徒	小学生	15	20	29	32	19	18	32	32	33	21
	中学生	123	141	119	81	120	75	88	126	115	72
	高校生	92	87	97	100	102	89	60	65	74	85
	その他	13	12	8	7	6	8	4	10	7	4
有職少年	12	20	23	28	12	31	42	33	28	28	
無職少年	24	25	19	32	28	22	22	21	18	16	
総数	283	309	302	287	295	246	252	290	283	232	

資料：県警察本部

令和元年中に警察で受理した行方不明少年は232人で、前年に比べ51人(18.0%)減少している。

5 サイバー補導の状況

(単位：人)

年	平成27	28	29	30	令和1
18歳未満	4	3	7	3	10
18歳以上20歳未満	3	6	4	3	3
計	7	9	11	6	13

資料：県警察本部（令和1年末現在）

※平成25年10月開始

※サイバー補導とは、児童が援助交際を求めるなどのインターネット上の不適切な書き込みをサイバーパトロールによって発見し、書き込みをした児童と接触して、直接、注意・指導すること

第9章 各相談窓口の状況

1 青少年相談の状況

(単位：件)

相談内容／年度		26	27	28	29	30
関主 する 学校 生活 に	いじめ	1,058	905	1,972	322	245
	不登校・怠学					686
	ひきこもり	11	18	21	8	26
	ニート	4	0	4	5	3
	小 計	1,073	923	1,997	953	960
主 に 健 全 育 成 に 関 す る こ と	暴力・傷害	42	38	64	41	44
	自画撮り被害					1
	その他の性非行 (異性関係含む)	33	39	52	40	36
	窃 盗	94	130	73	64	86
	喫 煙					3
	家 出 (外泊)	74	96	47	53	70
	深夜はいかい他	34	22	17	10	13
	友達関係 (交友関係)					122
	小 計	277	325	253	317	375
主 に 家 庭 に 関 す る こ と	学業・進路	121	107	117	104	90
	しつけ・性等	225	209	257	155	130
	親子関係 (家庭関係)					171
	性格・行動					380
	虐 待	327	366	465	892	1,626
	小 計	673	682	839	1,757	2,397
関主 する 心 身 に	障害 (知的・情緒含 む)					4,355
	身体的不安					18
	小 計	0	0	0	4,092	4,373
その他 (※)		7,556	7,687	7,942	2,878	1,860
総 数		9,579	9,617	11,031	9,997	9,965

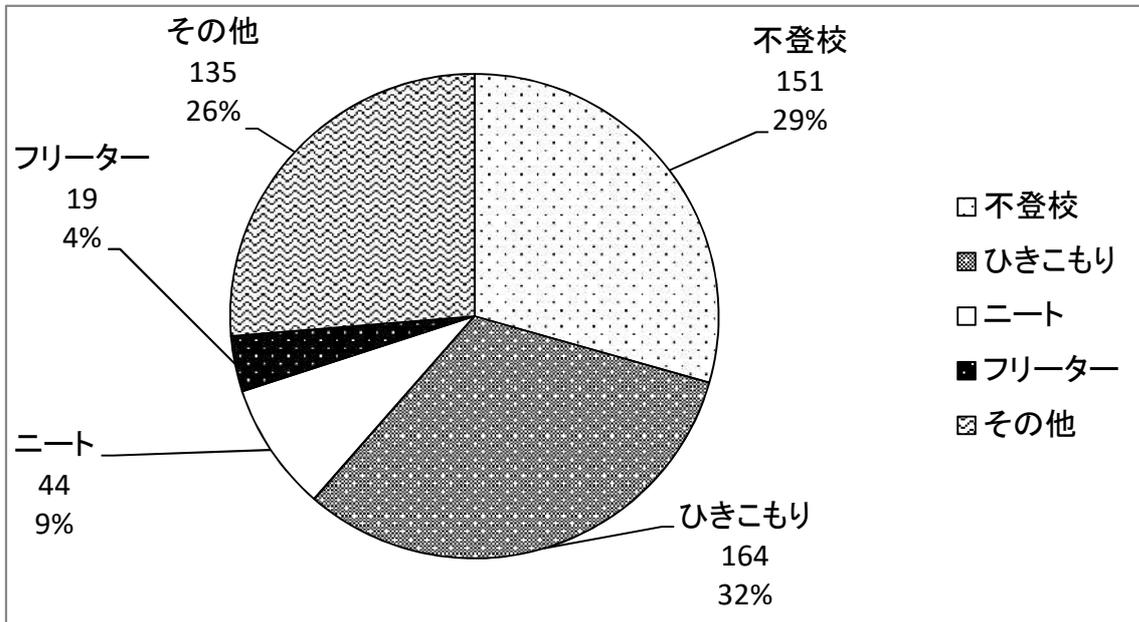
青少年男女共同参画課調べ

※ 中央児童相談所及び少年補導センター等27相談機関で受けた相談件数である。

※ 対象となる「青少年」とは、満20歳未満の者をいう。

2 かがしま子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）相談状況

・ 相談内容別件数・割合（令和元年度）



（件数：件，割合：％）

区分	不登校	ひきこもり	ニート	フリーター	その他	合計
平成26年度	199	162	69	33	280	743
平成27年度	185	166	51	55	232	689
平成28年度	203	259	45	106	171	784
平成29年度	290	179	57	42	237	805
平成30年度	122	175	88	27	132	544
令和元年度	151	164	44	19	135	513
割合	29.4	32.0	8.6	3.7	26.3	100

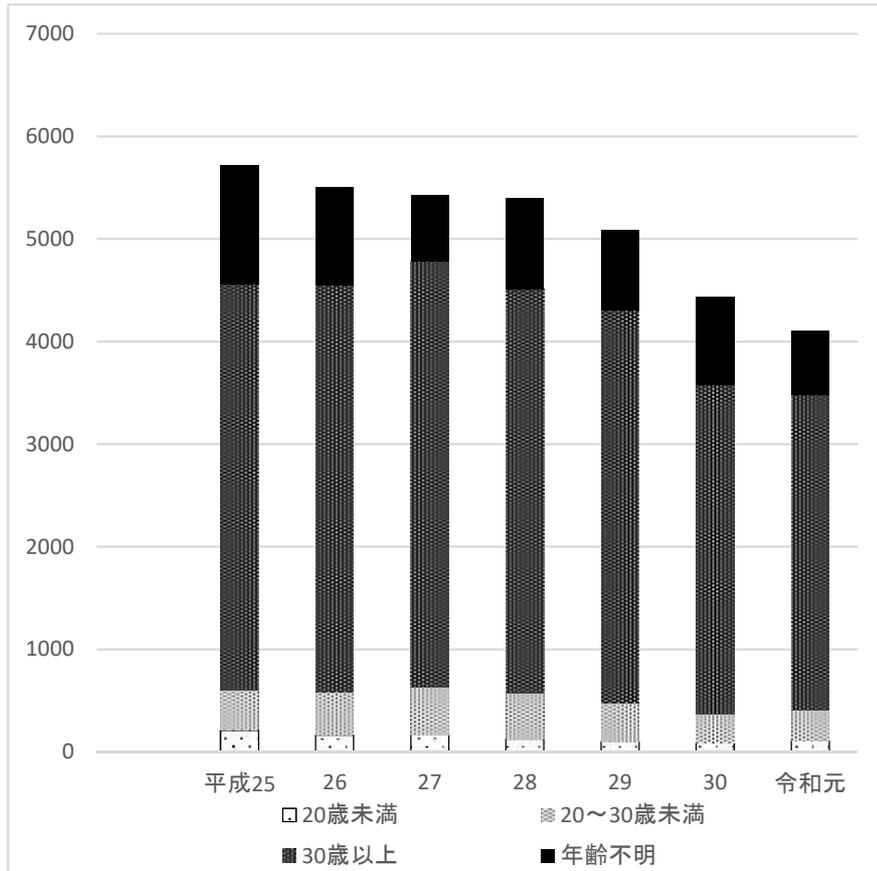
* その他は、「対人関係」「精神障害」「生活態度」に関する相談などである。

3 子ども・家庭110番への相談

	平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
相談件数	510	678	705	946	742	837

資料：子ども家庭課

4 消費者トラブルに関する相談（相談総件数と若年者相談数の推移）



区分\年度	平成25	26	27	28	29	30	令和元
20歳未満	212	164	166	126	102	89	110
20～30歳未満	394	422	469	449	375	282	299
小計	606	586	635	575	477	371	409
30歳以上	3,955	3,961	4,145	3,934	3,827	3,206	3,066
年齢不明	1,158	961	644	889	785	860	632
合計	5,719	5,508	5,424	5,398	5,089	4,437	4,107
構成比(20歳未満)	3.7%	3.0%	3.1%	2.3%	2.0%	2.0%	2.7%
構成比(30歳未満)	10.6%	10.6%	11.7%	10.7%	9.4%	8.4%	10.0%

資料：県消費生活センター